

平成25年度公益財団法人鳥取県産業振興機構事業報告

概要

当機構は、平成24年度に公益財団法人に移行し、公益法人改革により必置機関となった評議員会を設置し、当該機関の意見、意向等に沿って、業務執行機関である理事会における決定に基づいて、業務を運営、実施してきました。

機構の事業運営に当たっては、県内中小企業を取り巻く経営環境が大きく変化するなかにあつて、県内の中核的支援機関としての機能を果たすものとなるよう、県内企業の経営基盤の強化の支援、県内企業の技術及び経営の革新の支援、高度産業人材等の育成の支援、産学官連携促進の支援の4項目に重点的に取り組んできました。

県内企業の経営基盤の強化の支援では、

- ① 販路開拓等の支援においては、自立型企业への転換を見据えて、専門展示会への出展や提案型商談会の開催を行うとともに、企業支援コーディネーターを配置し、製品開発を進める企業への新たな支援体制の確立を積極的に進めました。
- ② 海外展開の支援においては、とっとり国際ビジネスセンターを中心として、専門展示会への出展を推進するとともに、アジア地域との交流の推進を支援しました。
- ③ また、再生支援協議会において、企業の再生を支援するとともに、経営改善支援センターを設置し、経営改善計画の策定を支援しました。

県内企業の技術及び経営の革新の支援では、

- ① 創業支援センターを中心に、とっとり発ベンチャー企業補助金による助成やビジネスプランコンテストの開催を行うとともに、新たな国の制度を活用し、地域の起業・創業を支援しました。
- ② また、LED産業競争力強化事業に取り組むとともに、引き続き、環境技術や地域資源の活用、農商工連携の促進、知財の活用等により、新分野への進出や新技術の開発などを支援しました。

高度産業人材等の育成の支援では、

- ① 県内企業の経営者向けのトップセミナー等を開催するほか、経営革新計画推進の役割を担う中堅リーダーの育成を支援するとともに、担い手人材の確保のため、インターンシップ事業を実施しました。

産学官連携促進の支援では、

- ① 地域イノベーション戦略支援プログラムや課題解決型医療機器等開発事業の採択を受け、総合調整機関として県内外の企業と鳥取大学等との共同研究を推進しました。
- ② とっとりバイオフロンティアの管理運営を通じて、県内企業のバイオ専門人材の育成、施設・機器等の利用促進を実施しました。

また、公益法人の管理運営体制の強化のため、自主的・自律的な財団の運営体制の確保にも取り組みました。

なお、平成25年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので、附属明細書は作成しません。

第1 運営組織の状況

1 設立年月日

平成12年4月1日

2 定款に定める目的

この法人は、県内中小企業等の経営基盤の強化、技術及び経営の革新、人材の育成及び産学官の連携促進等を支援することにより、県内における新たな産業の創出を推進するとともに、地域経済の活性化を図り、もって鳥取県の産業の発展に寄与することを目的とする。

3 定款に定める事業内容

- (1) 取引情報の収集及び提供並びに県内企業の取引先開拓の支援
- (2) 県内企業の経営改善の支援
- (3) 資金等の支援
- (4) 県内企業の国際ビジネスの支援
- (5) 大学等の研究成果及び特許等の技術移転の促進
- (6) 地域資源の活用並びに農商工の連携による事業化の促進
- (7) 県内企業の技術研究開発の支援及び技術交流の促進
- (8) 県内企業の高度産業人材等の育成
- (9) 県内企業の情報化の支援

(10) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4 会員の状況

賛助会員数 630(平成26年3月31日現在)

5 主たる事務所・従たる事務所

(1) 主たる事務所

鳥取県鳥取市若葉台南七丁目5番1号

(2) その他の事務所

鳥取県米子市日下1239番地(西部支部)

鳥取県米子市西町86番地(バイオフロンティア推進室)

鳥取県境港市竹内団地255番地3(とっとり国際ビジネスセンター)

6 役員等に関する事項 (平成26年3月31日現在)

(1) 評議員(18人)

氏名	所属・役職名	住所(所在地)
青 砥 隆 志	鳥取県信用金庫協会会長	鳥取県米子市東福原2丁目5-1
大 谷 芳 徳	鳥取県商工会議所連合会幹事長	鳥取市本町3丁目201 鳥取産業会館内
小 田 光 則	(株)山陰合同銀行代表取締役専務	鳥取市栄町402 鳥取営業本部
川 口 正 男	鳥取県商工会連合会専務理事	鳥取市湖山町東4-100
川 口 康 子	鳥取短期大学入試広報部長	倉吉市福庭854
河 原 正 彦	鳥取環境大学副理事長	鳥取市若葉台北1-1-1
児 嶋 太 一	鳥取ガス(株)代表取締役社長	鳥取市五反田町6
佐々木 慶 宏	三洋テクノソリューションズ鳥取株式会社商品開発 GMG	鳥取市立川町7-101
清 水 徹 男	鳥取県中小企業団体中央会専務理事	鳥取市富安1-96
成 田 裕 介	(独)日本貿易振興機構鳥取情報センター所長	鳥取市若葉台南7丁目5-1
新 田 陽 一	米子工業高等専門学校地域共同テクノセンター長	米子市彦名町4448
野 川 聡	鳥取県統轄監	鳥取市東町1丁目220
福 嶋 登美子	日本ランドメタル(株)副社長	鳥取市古海545-6
藤 井 喜 臣	鳥取県信用保証協会会長	鳥取市本町3丁目201 鳥取産業会館内
法 橋 誠	鳥取大学理事	鳥取市湖山町4-101
宮 崎 正 彦	(株)鳥取銀行頭取	鳥取市永楽温泉町171
村 江 清 志	地方独立行政法人鳥取県産業技術センター理事長	鳥取市若葉台南7丁目1-1
山 根 昭 彦	(株)氷温研究所代表取締役社長	米子市大篠津町3795-12

(2) 理事(14人)

氏名	所属・役職名	住所(所在地)
大 田 齊 之	鳥取市経済観光部長	鳥取市尚徳町116(鳥取市経済観光部)
岡 村 整 諮	鳥取県商工労働部長	鳥取市東町1-220(鳥取県商工労働部)
後 藤 優	株式会社ケイズ専務取締役	米子市両三柳2864-16
斎 木 憲 久	(株)明治製作所代表取締役社長	倉吉市駄経寺町390
坂 本 トヨ子	(株)サカモト代表取締役社長	八頭郡智頭町山根520-1
羽 馬 好 幸	気高電機(株)代表取締役社長	鳥取市気高町宝木1561-8
房 安 寿美枝	いなば和紙協業組合総務部長	鳥取市青谷町河原350-1
向 井 保	地方独立行政法人鳥取県産業技術センター理事	鳥取市若葉台南7丁目1-1
森 下 哲 也	(株)ゼンヤクノー代表取締役社長	鳥取市賀露町東長源寺446
森 脇 孝	(株)菊水フォーミング代表取締役社長	米子市夜見町2923
安 田 晴 雄	安田精工(株)代表取締役社長	鳥取市南栄町15-4
金 田 昭	公益財団法人鳥取県産業振興機構理事長	鳥取市若葉台南7丁目5-1
徳 村 純一郎	公益財団法人鳥取県産業振興機構常務理事・事務局長	鳥取市若葉台南7丁目5-1
小 林 福 実	公益財団法人鳥取県産業振興機構理事・事務局次長	鳥取市若葉台南7丁目5-1

(3) 監事(3人)

氏名	所属役職名	住所(所在地)
泉 谷 英 明	(公財)鳥取県産業振興機構監事	鳥取市立川町6丁目105-36

氏名	所属役職名	住所(所在地)
上 山 謙 一	株式会社山陰合同銀行 鳥取県庁支店支店長	鳥取市東町 1-220 鳥取県庁舎ビル 1 階
小野澤 弘 成	株式会社鳥取銀行 ふるさと振興部部長	鳥取市永楽温泉町 171

7 職員に関する事項 (平成 26 年 3 月 31 日現在)

所属等	常勤職員	任期付 職員	非常勤 職員	委託等	合 計	
常勤役員	3				3	理事長、常務理事、理事
総務企画部	3	3	1		7	
企業支援部	6	1 2	3	4	2 5	
新事業創出部	3	1 2	2		1 7	
創業支援センター	2	3	2		7	
企業再生支援室	—	6	2		8	
知的所有権センター	—	5	—		5	
バイオフィロンティア推進室	2	7	8		1 7	
とっとり国際ビジネスセンター	3	3	—	1	7	
西部支部	2	5	1		8	
合計	2 4	5 6	1 9	5	1 0 4	

第2 事業活動の状況

事業名・内容

I 県内企業の経営基盤の強化の支援

A 販路開拓や受注機会の拡大による取引量増大を通じ、県内企業の成長発展を支援する。

1 県内企業の受注促進・販路開拓の支援

(1)事業化育成支援事業

専門分野（電機・機械、食品、次世代産業）ごとに配置したマネージャーが、「とっとり企業支援ネットワーク」の関係機関と連携して、県内中小企業の経営の革新や販路の開拓に関する新たな施策を企画、推進する。

○ 機構内プロジェクトの推進
各マネージャーは、担当分野において機構の組織横断的なプロジェクトを実施する。なお、実施に当たっては、機構内の職員を効果的に活用するとともに、外部の専門家も活用する。

また、ものづくりカイゼン塾、専門家派遣事業等必要な事業を組み替えるなど柔軟に対応する。

※政策目標

年間支援件数1,000件(延べ件数)、250件（実件数）

年間プロジェクト件数1件／1マネージャー(中期期間(3～5年後)における自立型企业への発展に資する施策の提案)

【実績】

○支援状況

担当・項目	件数 上段：延べ件数(単位：件) 下段：実支援企業数（単位:社）						計
	製造	建設	卸売	小売	サービス	その他	
電機機械	99	1	1			5	106
	55	1	1			5	62
食品	130		18	96	21	69	334
	68		13	78	14	46	219
次世代	LED	201			8	6	215
		39			6	2	47
	再生エネ	35					35
		9					9
	その他	1					1
		1					1
小計	237				8	6	251
	49				6	2	57
合計	466	1	19	96	29	80	691
	172	1	14	78	20	53	338

◎年間プロジェクトの状況

具体的な内容等は別紙資料のとおり。

○電機・機械担当マネージャー：

- ・ 提案型ガイドブックの作成
- ・ 大手メーカーとの商談会の開催

○食品担当マネージャー：

- ・ 商品開発の支援
～市場ニーズが高まっている農産、水産品に係る商品のブラッシュアップ等
- ・ 販路開拓の支援
～東北地方に着目した販路の開拓を支援、通販商談会等新たな形態の商談会の開催

○次世代産業担当マネージャー：

- ・ LED関連産業の振興
～LED関連産業の新規参入や受注拡大
- ・ 次世代環境産業の創出
～再生可能エネルギー関連分野において、県内企業の技術・開発力の向上や新産業の創出

※実績評価

○延べ件数	691件	年間目標達成率	69.1%
○実件数（支援企業数）	338件（社）	年間目標達成率	135.2%

・ 支援件数等

延べ支援件数は691件となり、対政策目標で309件のマイナス、対前年実績では374件のマイナスとなった。実件数（支援企業数）は338社となり、政策目標で88社のプラス、対前年実績でも42社のプラスとなった。

・ 要因等

支援件数が減少した主な要因として、昨年に比べMGが1名減少したことが挙げられるが、支援企業数は、政策目標、前年実績を上回っており、より多くの企業に支援を実施することができた。引き続き支援企業数を重視し、支援対象を広げる方向で取り組んでいく。

【成果】

当該事業の実施内容、成果等は別添資料（1ページから2ページ）記載のとおり。

事業名・内容	事業の実績等																																																								
(2) 受発注情報等収集提供事業 関東圏、中京圏、関西圏を担当する発注開拓コーディネーターを3名配置し、大都市圏からの発注情報の収集を行うとともに、受注促進コーディネーターにより近県の発注情報を収集し、県内企業の受注機会の拡大を図る。 また、企業取引コーディネーター2名を配置し、県内での取引の促進を図る。 なお、「受注企業ガイドブック」を引き続き作成するとともに、新たに「鳥取の独自技術」を作成し、大手発注メーカー等に対するプレゼンテーションに活用する。 ※政策目標 成約件数300件	【実績】 ○支援状況 <table><tr><th>区分(カッコ内は人数)</th><th>企業訪問件数等</th></tr><tr><td>発注開拓・受注促進CD(5)</td><td>1,182件</td></tr><tr><td>企業取引CD(2)</td><td>1,480件</td></tr><tr><td>合計</td><td>2,662件</td></tr><tr><td>あつ旋紹介件数</td><td>929件</td></tr><tr><td>成約件数</td><td>312件</td></tr><tr><td>成約率</td><td>33.6%</td></tr><tr><td>取引成立金額</td><td>331,680千円 (成立当初受注額)</td></tr></table> ※実績評価 ○コーディネーターによる成約件数 年間目標達成率 104% (+12 件) - 特に下期に県内企業の受注が好調だったこともあり、①生産キャパがない、②利益率の悪い仕事を無理してとらない等の理由で前期に比べて成約件数、成約率とも悪化した。(あつ旋件数：+49件、成約件数：▲60件、成約率：▲8.7%) ○新規発注企業の開拓状況 努力目標：各地域4件／月の新規訪問 <table><tr><th rowspan="2">地域</th><th rowspan="2">訪問件数</th><th colspan="4">今後の見込み</th></tr><tr><th>◎</th><th>○</th><th>△</th><th>×</th></tr><tr><td>大阪</td><td>133 件</td><td>26</td><td>41</td><td>40</td><td>26</td></tr><tr><td>名古屋</td><td>43 件</td><td>0</td><td>14</td><td>23</td><td>6</td></tr><tr><td>東京</td><td>49 件</td><td>9</td><td>22</td><td>18</td><td>0</td></tr><tr><td>近隣県</td><td>82 件</td><td>21</td><td>27</td><td>17</td><td>17</td></tr><tr><td>合計</td><td>307 件</td><td>56</td><td>104</td><td>98</td><td>49</td></tr></table> ◎…案件をいただけた。 ○…継続訪問すれば案件出てきそう。 △…普通の感触。1度だけではわからないので、継続して様子をみる。 ×…案件出てくる可能性は低い。 ※努力目標達成率 160% (+115 件) - 県外CDを中心に、完成した『魅せます、鳥取企業の得意技』を携帯して発注開拓を開始。大手のニーズに対し、訪問したその場で企業・技術を提案できる強みを発揮 - 冊子の完成が日本海新聞に掲載され、県内でも反響があった。1,000部作成したが好評で、残り200部を切ったため年度内に500部増刷を完了。 【成果等】 - 東京CDが継続して訪問した結果、3年間受注がストップしていた企業から、100万円以上の発注が届き、取引復活となった。 - デンソー展示商談会後、10ヶ月経過して採用予定3件、商談中3件、見積依頼2件、6件継続中 - デンソー勝山技術企画部などとのつながりが増え、見積依頼2件いただくなど販路が着実に拡大した。 - 大阪はCDを2名に増やしたことで、新規開拓件数や商談会への参加企業が増えている。 - 新規開拓件数については、名古屋地区のみアイシン精機との調達検討会等の影響で、目標未達となった。 1年半前に立ち上げた板金の受注グループ内で仕事を回し合い、25年度1年間の取引が7,000万円に達した。	区分(カッコ内は人数)	企業訪問件数等	発注開拓・受注促進CD(5)	1,182件	企業取引CD(2)	1,480件	合計	2,662件	あつ旋紹介件数	929件	成約件数	312件	成約率	33.6%	取引成立金額	331,680千円 (成立当初受注額)	地域	訪問件数	今後の見込み				◎	○	△	×	大阪	133 件	26	41	40	26	名古屋	43 件	0	14	23	6	東京	49 件	9	22	18	0	近隣県	82 件	21	27	17	17	合計	307 件	56	104	98	49
区分(カッコ内は人数)	企業訪問件数等																																																								
発注開拓・受注促進CD(5)	1,182件																																																								
企業取引CD(2)	1,480件																																																								
合計	2,662件																																																								
あつ旋紹介件数	929件																																																								
成約件数	312件																																																								
成約率	33.6%																																																								
取引成立金額	331,680千円 (成立当初受注額)																																																								
地域	訪問件数	今後の見込み																																																							
		◎	○	△	×																																																				
大阪	133 件	26	41	40	26																																																				
名古屋	43 件	0	14	23	6																																																				
東京	49 件	9	22	18	0																																																				
近隣県	82 件	21	27	17	17																																																				
合計	307 件	56	104	98	49																																																				
(3) 町工場活性化支援事業 県内の町工場の活性化を支援するため、コーディネーターを配置し、農業団体と町工場の現状を把握するとともに、受注体制を構築する。 また、当財団の業務サービスを県内企業に広く提供するため、経営・知財・企業再生等の相談会を	【実績】 ○実施状況 - JA鳥取中央各営農センター、RC、選果場、水耕栽培事業所等を訪問し、本事業の趣旨説明と協力要請を行うとともに、設備の活動状況等について調査を行った。 - 中部地区の町工場を訪問し、保有設備や強みとなる技能等を調査し、本事業の核となる中部町工場ネットワークの候補企業を最終的に5事業所に絞りこみ活動を開始した。 10月にJA鳥取中央と合同会議を開催した結果、JAからいろいろな情報が入ってくるようになり、相談件数が増えてきた。それに対する修理提案、部品製作提案などが進行中 - ネットワークの名称を『アシスト中部』に決定し、町工場参加企業の技術力や設備を掲																																																								

事業名・内容	事業の実績等																																																						
開催するなどコーディネート機能を果たす。	載したガイドブックを 300 部作成。JA を始め、関係機関に配布し、農業機械設備の修理、部品製作等ができることをアピールした。 【課題】 ・ J Aと町工場が対等なパートナーとして納得し、信頼関係を構築できる関係づくりが課題 ・ J Aに対し、町工場の認知度が不足しているため、中部町工場の PR 冊子を作り JA 各営農センターへの PR、技術提案を進めていく。 【成果】 ○受注成立実績 <table><tr><th>取引関係</th><th>成立件数</th><th>受注成立金額</th></tr><tr><td>農業団体一町工場</td><td>5 件</td><td>649 千円</td></tr><tr><td>民間企業間</td><td>2 件</td><td>50 千円</td></tr><tr><td>合 計</td><td>7 件</td><td>699 千円</td></tr></table>	取引関係	成立件数	受注成立金額	農業団体一町工場	5 件	649 千円	民間企業間	2 件	50 千円	合 計	7 件	699 千円																																										
取引関係	成立件数	受注成立金額																																																					
農業団体一町工場	5 件	649 千円																																																					
民間企業間	2 件	50 千円																																																					
合 計	7 件	699 千円																																																					
(4) 専門展示会出展支援事業 (国内) 県内企業の製品、技術をアピールする場として、大都市圏で開催される集客能力の高い専門展示会に出展する機会を提供する。	【実績】 ○H25年度専門展示会（国内）出展 <table><tr><th>期日</th><th>名称</th><th>企業数</th><th>商談件数</th><th>成立金額</th></tr><tr><td>5/21～5/24</td><td>NEW環境展2013</td><td>2 社</td><td>22件</td><td>5, 108千円</td></tr><tr><td>6/19～6/21</td><td>機械要素技術展</td><td>4 社</td><td>54件</td><td>11, 569千円</td></tr><tr><td>11/13～11/16</td><td>メッセナゴヤ</td><td>2 社</td><td>21件</td><td>1, 850千円</td></tr><tr><td>1/15～1/17</td><td>電子部品EXPO</td><td>3 社</td><td>39件</td><td>商談中</td></tr><tr><td>3/4～3/7</td><td>FOODEX JAPAN 2014</td><td>7 社</td><td>149件</td><td>商談中</td></tr><tr><td>3/4～3/7</td><td>建築・建材展2014</td><td>3 社</td><td>34件</td><td>商談中</td></tr><tr><td>3/4～3/7</td><td>LED NEXT STAGE</td><td>2 社</td><td>98件</td><td>商談中</td></tr></table> ○H24年度専門展示会（国内）出展後のフォロー状況 ※フォロー状況詳細は別添資料 【改善点】 ・ 25年度は、24年度末に企業へアンケートを実施し、その結果をもとに、企業ニーズに合わせた展示会への出展を行ったが、それが出展申込みの増加に繋がったと考えられる。 ・ 26年度来期も出展企業のすそ野を広げるために、2月にアンケートを実施し、その結果をもとに来期出展する展示会を決定した。 【成果】 ・ 環境展をきっかけとして、広く県外の環境関連企業へアピールでき、代理店契約の成立や商品のカタログ掲載につながる等出展効果が大きかった。 ・ メッセナゴヤでは2社が出展。2社とも来場者が多く好感触。準備していたチラシ500枚が配布完了。 ・ 電子部品EXPO、建築・建材展2014、FOODEX JAPAN2014などで募集した以上の申込みがあり、ブースを広げて対応した。	期日	名称	企業数	商談件数	成立金額	5/21～5/24	NEW環境展2013	2 社	22件	5, 108千円	6/19～6/21	機械要素技術展	4 社	54件	11, 569千円	11/13～11/16	メッセナゴヤ	2 社	21件	1, 850千円	1/15～1/17	電子部品EXPO	3 社	39件	商談中	3/4～3/7	FOODEX JAPAN 2014	7 社	149件	商談中	3/4～3/7	建築・建材展2014	3 社	34件	商談中	3/4～3/7	LED NEXT STAGE	2 社	98件	商談中														
期日	名称	企業数	商談件数	成立金額																																																			
5/21～5/24	NEW環境展2013	2 社	22件	5, 108千円																																																			
6/19～6/21	機械要素技術展	4 社	54件	11, 569千円																																																			
11/13～11/16	メッセナゴヤ	2 社	21件	1, 850千円																																																			
1/15～1/17	電子部品EXPO	3 社	39件	商談中																																																			
3/4～3/7	FOODEX JAPAN 2014	7 社	149件	商談中																																																			
3/4～3/7	建築・建材展2014	3 社	34件	商談中																																																			
3/4～3/7	LED NEXT STAGE	2 社	98件	商談中																																																			
(5) 商談会等開催事業 県内企業の受注の拡大を図るため、大都市圏の大手メーカー向けの「提案型商談会」や食品バイヤー向けの「食品商談会」を開催するとともに、県内への進出企業等に県内企業の優れた技術・製品を紹介する「進出企業商談会」等を開催する。	【実績】 ○商談会等開催状況 食品関連 <table><tr><th rowspan="2">期日</th><th rowspan="2">名称・場所</th><th rowspan="2">参加者数 (単位:社)</th><th>商談件数</th><th>成立件数</th></tr><tr><th colspan="2">成立金額</th></tr><tr><td rowspan="2">4/12</td><td rowspan="2">琴浦町マルイ商談会</td><td rowspan="2">発注：1 受注：1 6</td><td>1 6 件</td><td>1 5 件</td></tr><tr><td colspan="2">20, 000千円</td></tr><tr><td rowspan="2">5/17</td><td rowspan="2">中国CGC食品商談会</td><td rowspan="2">発注：1 受注：3 6</td><td>4 1 件</td><td>2 1 件</td></tr><tr><td colspan="2">1, 400千円</td></tr><tr><td rowspan="2">6/21</td><td rowspan="2">中国CGC水産商談会</td><td rowspan="2">発注：5 受注：1 0</td><td>1 0 件</td><td>1 0 件</td></tr><tr><td colspan="2">19千円</td></tr><tr><td rowspan="2">6/26</td><td rowspan="2">とりぎん食品商談会</td><td rowspan="2">発注：3 受注：2 2</td><td>4 4 件</td><td>2 3 件</td></tr><tr><td colspan="2">10, 000千円</td></tr><tr><td rowspan="2">7/17</td><td rowspan="2">琴浦町広電ストア商談会</td><td rowspan="2">発注：1 受注：1 8</td><td>1 7 件</td><td>1 1 件</td></tr><tr><td colspan="2">商談中</td></tr><tr><td rowspan="2">7/18</td><td rowspan="2">マルイ車尾店商談会</td><td rowspan="2">発注：1 受注：4</td><td>4 件</td><td>3 件</td></tr><tr><td colspan="2">商談中</td></tr><tr><td>9/3</td><td>中合三春屋商談会</td><td>発注：1</td><td>1 6 件</td><td>1 6 件</td></tr></table>	期日	名称・場所	参加者数 (単位:社)	商談件数	成立件数	成立金額		4/12	琴浦町マルイ商談会	発注：1 受注：1 6	1 6 件	1 5 件	20, 000千円		5/17	中国CGC食品商談会	発注：1 受注：3 6	4 1 件	2 1 件	1, 400千円		6/21	中国CGC水産商談会	発注：5 受注：1 0	1 0 件	1 0 件	19千円		6/26	とりぎん食品商談会	発注：3 受注：2 2	4 4 件	2 3 件	10, 000千円		7/17	琴浦町広電ストア商談会	発注：1 受注：1 8	1 7 件	1 1 件	商談中		7/18	マルイ車尾店商談会	発注：1 受注：4	4 件	3 件	商談中		9/3	中合三春屋商談会	発注：1	1 6 件	1 6 件
期日	名称・場所				参加者数 (単位:社)	商談件数	成立件数																																																
		成立金額																																																					
4/12	琴浦町マルイ商談会	発注：1 受注：1 6	1 6 件	1 5 件																																																			
			20, 000千円																																																				
5/17	中国CGC食品商談会	発注：1 受注：3 6	4 1 件	2 1 件																																																			
			1, 400千円																																																				
6/21	中国CGC水産商談会	発注：5 受注：1 0	1 0 件	1 0 件																																																			
			19千円																																																				
6/26	とりぎん食品商談会	発注：3 受注：2 2	4 4 件	2 3 件																																																			
			10, 000千円																																																				
7/17	琴浦町広電ストア商談会	発注：1 受注：1 8	1 7 件	1 1 件																																																			
			商談中																																																				
7/18	マルイ車尾店商談会	発注：1 受注：4	4 件	3 件																																																			
			商談中																																																				
9/3	中合三春屋商談会	発注：1	1 6 件	1 6 件																																																			

事業名・内容		事業の実績等			
			受注：16	1,560千円	
	9/26	中国シジシー琴浦町商談会	発注：4 受注：16	9件	6件
	10/24	第1回農商工商談会	発注：3 受注：23	36件	14件
	11/1	第1回通信販売商談会	発注：2 受注：23	30件	8件
				商談中	
				商談中	
				商談中	
				商談中	
				商談中	
				商談中	
				商談中	
				商談中	
電機・機械関連(提案型商談会)					
期日	名称	参加者数 (単位:社)	商談件数・折衝状況		
4/25 5/22	大手エアコンメーカーのニーズマッチング会	発注：1 受注：2	個別マッチングに進展。提案した企業2社に対し、工場見学会を実施し相互理解を深めた。		
9月～	富士重工業個別商談	発注：1 受注：11	先方へ企画提案中。社内イントラで技術者が県内技術のみられるよう対応した（10/中旬～）。 H26年1月に1社個別面談を実施し、見積中		
10/23	アイシン精機部品調達検討会	発注：1 受注：5	7月に工場見学会を実施し好評。安城工場部品調達検討会を開催したが、価格が合わず残念ながら新しい取引は成立しなかった。		
2/20	HONDA展示商談会	発注：1 受注：6	県内企業10社が申込み⇒選考の結果、6社が出展⇒来場者：631名 当日の成果：名刺交換＝88件 後日面談の約束＝4件		
大手企業とのニーズマッチング（提案型）					
公開月	ニーズ発信企業	1次エントリー通過	2次エントリー通過⇒個別面談へ		
10月末	レイトバンキサー	7社/8社	6社通過⇒うち2社継続、4社断念		
	BMWジャパン	1社/5社	1社通過⇒辞退		
	富士通ゼネラル	2社/5社	2社通過⇒断念		
ものづくり系(受発注商談会)					
期日	名称	参加者 (単位:社)	商談件数・折衝状況		
9/3	中国ブロック商談会（広島）	発注：73 受注：18	サンプル・図面をもらった5件、後日図面をもらう26件、後日連絡20件、断念2件		
9/27	ものづくり受発注商談会（大阪）	発注：50 受注：20	サンプル・図面をもらった5件、後日図面をもらう15件、後日連絡11件、断念10件		
12/10	発掘商談会in米子	発注：10 受注：38	成立3件、サンプル・図面をもらった27件、後日図面をもらう57件、断念8件		
1/23	上海商談会	発注：22 受注：6	見積図面をもらった1件、後日図面をもらう10件、後日訪問・連絡をもらう8件、その他・情報提供2件、断念3件		
2/20 2/21	近畿・四国合同商談会	発注：147 受注：22	サンプル・図面をもらった13件、後日図面をもらう18件、後日連絡29件、断念8件		
環境関係(展示会+商談会)					
期日	名称	参加者（単位:社）	商談件数・折衝状況		
9/6～ 9/7	とっとり産業フェスティバル2013	出展企業：69	事前計画分 発注：8社 受注：18社 商談：25件		
※産業フェスティバルの状況については後述する。					
【成果等】					
○食品関連					
・ 10件の商談会を開催し、見込みを含めて多数の商談成立となった。					

事業名・内容		事業の実績等																		
		・ 琴浦町マルイ商談会をきっかけに、県内及び岡山県北にあるマルイ20店舗で鳥取・琴浦フェアを開催していただき、たいへん盛況であった。 ・ 境港から中合三春屋への鮮魚輸送に3日かかっていたが、魚種・水揚げ条件が合えば最短24時間で到着できるようになった(週1～2便) ○電機・機械 ・ 企業単独で営業活動しても話を聞いてもらえるまでに時間がかかり、なかなか結果に結びつかない。機構が開催する商談会では商談の確度が高く、一番成立効果が高いとの感謝の声を参加企業からいただいた。 ・ 関経連企業1,100社に抜粋版を送付。うち75社に対し提案型ガイドブックを持参し、個別にアプローチを進めた結果、4月に日立造船との商談会が決定。(再掲載) ○大手企業とのマッチング ・ 大手企業6社のニーズ説明会に参加し、18社を1次エントリーした。その結果、欧州の医薬品・生活用品メーカー向け提案で2次エントリーを通過し、大手メーカーとの面談へ進展した。 ○ものづくり系 ・ 発掘商談会in米子、上海商談会、近畿・四国合同商談会では、受注企業として初参加の企業が13社。商談会への参加企業が増えている。 ・ 上海でのものづくり商談会を初めて開催。参加した県内企業6社すべてが来年も出展したいといわれるほど好評だった。 ・ 新規発注企業の開拓が思うように進んでいないことや商談会の開催間隔の問題等により企業発掘商談会in兵庫の開催日程を再検討中。 ・ 前回(H25年2月)の近畿・四国商談会では半年で2件、320万円成立																		
【事業評価】 1 県内企業の受注促進・販路開拓の支援																				
自己評価	評価理由																			
A	① マネージャーの企業支援については、実支援件数338件で目標対比135%、また、受発注情報の提供においても成約件数が104%と目標を達成するとともに、新たな販路の開拓等において成果を得ている。 ② 展示会、商談会の出展等では、目標を上回る回数の出展を支援し、県内企業の受注量の確保に寄与している。ものづくり系企業の商談会においては、県内企業延べ104社が参加するとともに、特に食品関係においては、町との連携による商談会の開催等新たな支援での商談会を開催した。 ③ (V1(1)企業支援コーディネーターの設置では、県内企業の新規事業に繋がる製品開発等の支援を行い、実績5件と目標どおりの実績となった。) これらの実績等からA評価と判断した。																			
特記事項																				
① 各マネージャーが、新たな販路の開拓においてそれぞれ成果があったこと。 ～日立造船・関経連加盟企業との商談会、通販商談会、照明デザイナーとの共同による販路開拓等 ② 本年度の取引成立金額(当初成立分のみ)は332百万円で、前年度比133%となっている。																				
2 県内企業の海外展開の支援																				
(1)「北東アジアゲートウェイ」実践事業 ア 海外サポーター市場調査事業 台湾、上海、ソウルでの現地専門家(外部委託)により、海外市場調査、有望バイヤー発掘等を行う。		【実績】 <table><thead><tr><th>地域</th><th>主な業務内容</th></tr></thead><tbody><tr><td>台湾(台北)</td><td rowspan="3">現地の最新情報を毎月1回レポートにして提出(年12回) 各種貿易投資の係る相談対応(無料/有料) 機構等の現地訪問時の対応 県内企業を訪問、ビジネス創出の検討(中国サポーター)</td></tr><tr><td>中国(上海)</td></tr><tr><td>韓国(ソウル)</td></tr></tbody></table> ・ 毎月のレポートを「とっとり・グローバルウォッチ」に掲載し、県内企業等へ情報発信 【課題等】 ・ ものづくり系を中心として、各国・地域で個別ビジネスマッチングの具体的な実施方法について、海外サポーターと連携して構築する方向 【成果】 ・ 平成26年1月上海サポーターによる個別ビジネスマッチングを実施、参加企業3社に対し、マッチング可能な企業の選定、商談を実施。 ～県内及び海外企業の動向を把握して商談会の実施。海外展開の支援方策の一つのモデル事例となった。				地域	主な業務内容	台湾(台北)	現地の最新情報を毎月1回レポートにして提出(年12回) 各種貿易投資の係る相談対応(無料/有料) 機構等の現地訪問時の対応 県内企業を訪問、ビジネス創出の検討(中国サポーター)	中国(上海)	韓国(ソウル)									
地域	主な業務内容																			
台湾(台北)	現地の最新情報を毎月1回レポートにして提出(年12回) 各種貿易投資の係る相談対応(無料/有料) 機構等の現地訪問時の対応 県内企業を訪問、ビジネス創出の検討(中国サポーター)																			
中国(上海)																				
韓国(ソウル)																				
イ 海外商談会開催事業 県内企業の海外への販路開拓を支援するため、県内企業の出展意欲の高い地域の海外見本市及び商談会に鳥取県ブースとして出展する。 また、海外見本市及び海外商談		【実績】 ○商談会・展示会(海外)支援状況 <table><thead><tr><th>期日</th><th>名称</th><th>出展企業数</th><th>商談件数</th><th>成立金額</th></tr></thead><tbody><tr><td>6/9～6/12</td><td>GTI国際貿易・投資博覧会(韓国江原道江陵市)</td><td>1</td><td>14</td><td>-</td></tr><tr><td>9/6～9/11</td><td>第9回中国・北東アジア博覧会(中国吉林省長春市)</td><td>4</td><td>127</td><td>1,500千円</td></tr></tbody></table>				期日	名称	出展企業数	商談件数	成立金額	6/9～6/12	GTI国際貿易・投資博覧会(韓国江原道江陵市)	1	14	-	9/6～9/11	第9回中国・北東アジア博覧会(中国吉林省長春市)	4	127	1,500千円
期日	名称	出展企業数	商談件数	成立金額																
6/9～6/12	GTI国際貿易・投資博覧会(韓国江原道江陵市)	1	14	-																
9/6～9/11	第9回中国・北東アジア博覧会(中国吉林省長春市)	4	127	1,500千円																

事業名・内容	事業の実績等																																																												
会における成約率の向上を図るため、バイヤー招聘により事前の相談や商材調整、事後のフォローアップ等を実施する。	9/28～29	2013鳥取ブランド展inロシア	5	5	750千円																																																								
	3/10	食品輸出商談会in山陰	7	14	-																																																								
ウ ものづくり系企業海外支援事業 中国5県の産業支援機関が共同で開催するものづくり分野の商談会(中国5県合同上海商談会)への県内企業の参加を支援する。 また、日系大手メーカー等を訪問し、中国における資材調達の説明、具体的な発注案件について企業ごとに商談を実施する。	○その他の展示会等の状況 ・ 韓国(ソウル：ロッテ百貨店「鳥取県物産展」) 平成25年6月に韓国ロッテ百貨店のバイヤーを訪問、開催について大筋で合意し、同年7月に物産展委託予定事業者を訪問するなどの調整 今年2月に本事業の共催相手であるクレアソウル(ソウル)を訪問し、福島原発事故の影響による日本食に対する購買意欲が低下し、食品輸出自体が難しくなっている状況等を考慮し協議した結果、物産展の企画を中止。 26年度はクレアソウル(ソウル)と相談の上実施調整予定 ・ タイバンコク訪問 日系大手自動車企業等が生産拠点とするタイ王国のバンコクにおいて、鳥取県が「鳥取県東南アジアビューロー」を開所するのに合わせ、技術交流や部品輸出等取引の可能性、また、日系進出企業等を視察するため、タイ王国を訪問した。 【成果】 ○各商談会の成果等 別添資料のとおり。																																																												
	【実績】 ○上海ビジネスマッチング 時 期：26年1月24日(中国4県ものづくり商談会に合わせて開催) 場 所：中国・上海市周辺 参加者：県内企業3社 方 法：各社2社ずつ企業訪問し商談 ○ 事前セミナー 25年10月11日に上海サポーターを招き、上海ビジネスセミナーを開催(鳥取商工会議所)、事前に参加企業の相談・要望をとりまとめ、企業ごとにアドバイスを行った。 本番のマッチングに係る具体的業務(商談先候補企業選定、訪問アポ取り、フォローアップ等)は上海サポーターに委託した。 【課題等】 ・ 中国側が旧正月前の繁忙期で商談先との事前の摺り合わせが十分にできなかった。 ・ 商談成約が成果の全てではなく、商談を通して今後の販路開拓・人脈構築等に繋げてもらえるよう、引き続きフォローをしていく。 【成果】 参加企業にとっては新たな出会いのきっかけとなり、今後に繋げていきたいと前向きな感想あり。海外サポーターにより接触中の企業あり。																																																												
(2)新たなビジネスモデル創出支援事業 ア 県内企業海外チャレンジ補助金事業 県内企業が独自に海外見本市に参加し、販路開拓等に取り組むための海外見本市等出展経費やサンプル輸入、輸出入に伴う関係書類作成等に要する経費の一部を助成する。 ※政策目標 助成件数10件	【実績】 ○チャレンジ補助金の採択状況 <table><tr><th>申請者</th><th>事業内容</th><th>金額(千円)</th><th>備考</th></tr><tr><td>越河</td><td>タイ食品商談会</td><td>560</td><td>実施済</td></tr><tr><td>澤井珈琲</td><td>タイ食品商談会</td><td>267</td><td>実施済</td></tr><tr><td>ワールドラビット</td><td>フィリピン食品商談会</td><td>465</td><td>実施済</td></tr><tr><td>ビックツール</td><td>米国機械見本市</td><td>593</td><td>実施済</td></tr><tr><td>綾美</td><td>ベトナム展示商談会</td><td>1,000</td><td>実施済</td></tr><tr><td>オーク</td><td>米国食品見本市</td><td>411</td><td>実施済</td></tr><tr><td>東京ダグ</td><td>中国ペットフードショー</td><td>993</td><td>実施済</td></tr><tr><td>エムケイ開発</td><td>タイ食品商談会</td><td>202</td><td>実施済</td></tr><tr><td>アスウェイ</td><td>部品サンプル輸入</td><td>857</td><td>実施済</td></tr><tr><td>台湾太平洋SOGO2013年秋冬日本商品展出店企業団</td><td>2社合同台湾物産展</td><td>1,459</td><td>実施済</td></tr><tr><td>GPC研究所</td><td>欧州環境展</td><td>583</td><td>実施済</td></tr><tr><td>寿製菓</td><td>栄養成分検査</td><td>440</td><td>実施済</td></tr><tr><td>計(採択)</td><td>12件</td><td>7,830</td><td></td></tr></table> ※実績評価 助成件数 120%(+2件)					申請者	事業内容	金額(千円)	備考	越河	タイ食品商談会	560	実施済	澤井珈琲	タイ食品商談会	267	実施済	ワールドラビット	フィリピン食品商談会	465	実施済	ビックツール	米国機械見本市	593	実施済	綾美	ベトナム展示商談会	1,000	実施済	オーク	米国食品見本市	411	実施済	東京ダグ	中国ペットフードショー	993	実施済	エムケイ開発	タイ食品商談会	202	実施済	アスウェイ	部品サンプル輸入	857	実施済	台湾太平洋SOGO2013年秋冬日本商品展出店企業団	2社合同台湾物産展	1,459	実施済	GPC研究所	欧州環境展	583	実施済	寿製菓	栄養成分検査	440	実施済	計(採択)	12件	7,830	
申請者	事業内容	金額(千円)	備考																																																										
越河	タイ食品商談会	560	実施済																																																										
澤井珈琲	タイ食品商談会	267	実施済																																																										
ワールドラビット	フィリピン食品商談会	465	実施済																																																										
ビックツール	米国機械見本市	593	実施済																																																										
綾美	ベトナム展示商談会	1,000	実施済																																																										
オーク	米国食品見本市	411	実施済																																																										
東京ダグ	中国ペットフードショー	993	実施済																																																										
エムケイ開発	タイ食品商談会	202	実施済																																																										
アスウェイ	部品サンプル輸入	857	実施済																																																										
台湾太平洋SOGO2013年秋冬日本商品展出店企業団	2社合同台湾物産展	1,459	実施済																																																										
GPC研究所	欧州環境展	583	実施済																																																										
寿製菓	栄養成分検査	440	実施済																																																										
計(採択)	12件	7,830																																																											

事業名・内容	事業の実績等						
	○内訳						
			23年度	24年度	25年度	備考	
	業 種	食品系	3	9	7		
		ものづくり系	2	0	2		
		その他	2	1	3	コスメ・ペットフード石材・服飾	
		合計	7	10	12		
	地 域 別	アジア	6	8	9		
		北米	1	1	2		
		オセアニア		1			
		ヨーロッパ			1		
【成果等】							
・ 企業の海外展開において活用しやすい制度であり、毎年度想定件数を上回っている。							
・ 企業のアジア展開が顕著な伸びとなり、特に食品系企業は付加価値の高い日本産食品を売り込むターゲットとしてアジアの富裕層・中間層に注目して海外展開を図っている。							
○具体的な事例							
・ 補助金を利用して海外展示会に出展し、タイの大手日本食問屋と接点をもつことができ、1,000千円のオーダーを獲得した。今年度も継続して接触し受注拡大を図っている。							
イ 国際ビジネス支援アドバイス事業 専門的な見地からビジネス手続き・法制度等についてアドバイスする専門企業を登録し、当該企業から支援を受ける県内企業の経費の一部を助成する。 ※政策目標 助成件数10件	【実績】						
	・ ホームページ、メールマガジンで企業に対し制度の周知を図るとともに、センターに来訪された企業に対し制度を紹介するなど、重ねて周知を図ったが、実績がないこと。						
	【26年度事業】						
	・ 実績もないため、事業のあり方を再検討した結果、25年度限りで廃止することとした。						
ウ 江原道テクノパーク交流事業 江原道原州市の原州医療テクノバレー企業との経済交流を図るため、医療・健康分野での技術交流・共同研究を推進するとともに、韓国企業来県による県内での商談会を開催する。	【実績】						
	韓国江原道、原州市との交流を実施した						
	6月：江原道庁戦略産業課、江原テクノパーク、原州医療テクノバレーを訪問。協業活動への協力依頼						
	7月：原州医療テクノバレーを訪問し、企業調査						
	9月：原州医療機器展示会へ参加						
	3月：韓国企業来県による医工連携に関する意見交換会を実施						
	・参加者						
	韓国側 江原テクノパーク院長、グローバル事業チーム長・課長 江原道庁戦略産業課係長、原州医療機器テクノバレー代理 (株)NCARE、(株)マルチ、イウン						
	鳥取側 イナバゴム(株)、気高電機株、鳥取科学機器(株)、鳥取コスモサイエンス(株)、日照電機製作所(株)、(有)益山製作所、(有)山本精機、(株)LASSIC、鳥取銀行、鳥取大学、鳥取県産業振興室						
	【成果】						
	○ 意見交換会を通じ、①サンプルの提供・検討②鳥取県企業から見積価額・試作図面の提示予定③日韓企業間で医療機器の現場ニーズの情報連絡を実施等の企業マッチングの結果が得られた。						
	○ ジェトロ（日本貿易振興機構）の地域間交流事業（RIT）に採択された。今後各地域のニーズ・シーズを踏まえて、輸出、技術提携・共同製品開発等の成果の出現に結びつけていく。						
(3)とっとり国際ビジネスセンター運営事業 ア 韓国・ロシアビジネスサポート人材配置事業 各国言語通訳、翻訳支援による初期段階のビジネス創出の円滑化を図るため、新たに韓国語、ロ	【実績】						
	○支援件数						
	区分		件数等	内訳			備考
				翻訳	通訳	相談	
支援 件数		韓国語通訳等	721	424	222	75	
		ロシア語通訳等	222	133	46	43	
		計	943	557	268	118	

事業名・内容	事業の実績等																																	
シア語に精通した人材をとっとり国際ビジネスセンターに配置する。 ※政策目標 スタッフ関係支援件数1,000件	・通訳、翻訳業務だけでなく、展示会等の企画立案にも参画 ※実績評価 スタッフ関係支援件数94％ 【成果】 ○コーディネーター等と一体となって県内企業からの様々な要望に対応。 韓国スタッフ：江原道との経済交流において、企業間の商談に通訳として派遣等。 ロシアスタッフ：ウラジオストク市ビジネスセンターと今後の事業連携について交渉等																																	
イ 専門相談員配置事業 県内企業の海外における自立的展開をサポートするため、とっとり国際ビジネスセンターに登録されている専門相談員が、海外取引業務、貿易手続業務等に関する専門的な相談に対応する。 ※政策目標 企業支援件数100件	【実績】 ○専門相談員による企業支援件数：115件（3月末） ・県内企業の海外展開戦略の相談、支援のほか、具体的な輸入規制、許認可などについても相談対応している。 ※実績評価 企業支援件数115％ ○相談事例等【成果】 ・海外物産展参加に伴う代金回収の問い合わせに、契約書的具体例を提示してアドバイス、海外サポーターとの面談によるビジネス展開の可能性の調整 ・特殊ドリル製造会社の海外展開の実現のため、海外戦略の検討、海外商談会への同行																																	
ウ 海外展開支援体制整備事業 県内企業の海外展開支援体制の充実を図り、商談会や物産展等により正確な海外事情を踏まえた支援を行うため、国際ビジネスセンターに中国担当、韓国担当のコーディネーターを配置する。 ※政策目標 相談件数600件	【実績】 ○コーディネーター等による企業支援件数455件 ○相談事例等 ・冷凍食品の輸出について、企業訪問を行い、基本的事項から貿易実務について説明 ・商談会を契機に商談を開始した企業に対し、サンプルの製造のための資料の要求、交渉内容等のアドバイス 【改善点等】 ○国際ビジネスセンターにおいて、コーディネーター等が関係機関と連携してワンストップで貿易相談に対応できる体制を整備したこと。 ○コーディネーターの知識・経験及び地域特性を活かした市場アプローチを行うことができるよう外国語スタッフを配置するなど、体制の充実を図ったこと。 ※実績評価 相談件数76％（25年12月以降1名欠員となったため。） 【成果】 ○新規に海外展開を開始する企業が増加している。 内訳 <table><tr><td colspan="2"></td><td>23年度</td><td>24年度</td><td>25年度</td><td>備考</td></tr><tr><td rowspan="3">業 種 別</td><td>食品系</td><td>2</td><td>5</td><td></td><td></td></tr><tr><td>ものづくり系等</td><td>1</td><td>3</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>合計</td><td>3</td><td>8</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">地 域 別</td><td>アジア</td><td>3</td><td>7</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>ロシア</td><td></td><td>1</td><td></td><td></td></tr></table> ○商社や代理店等を通じた輸出入を行う企業だけでなく、石田コーポレーション、大文字広告社、ライフエンス、KSトレード等は、自ら商社機能を持ち他社製品を含め輸出入を行っており、県内企業の海外展開のサポートの役割も担いつつある。			23年度	24年度	25年度	備考	業 種 別	食品系	2	5			ものづくり系等	1	3	1		合計	3	8	1		地 域 別	アジア	3	7	1		ロシア		1		
		23年度	24年度	25年度	備考																													
業 種 別	食品系	2	5																															
	ものづくり系等	1	3	1																														
	合計	3	8	1																														
地 域 別	アジア	3	7	1																														
	ロシア		1																															
(4) ロシアビジネスサポートセンター事業 県内企業の海外展開を支援するとともに、日露間のビジネス創出を図るため、外部業者（センコン物流）への業務委託によりウラジオストク及び境港のロシアビジネスサポートセンターの設置・運営を行う。 ※政策目標 相談件数300件	【実績】 ○サポートセンター運営状況（3月末／日露双方合計） →センコン物流株式会社に業務委託 <table><tr><td colspan="2" rowspan="2">区分</td><td rowspan="2">件数等</td><td colspan="2">内訳</td></tr><tr><td>ウラジオ</td><td>境港</td></tr><tr><td rowspan="3">支援 件数</td><td>相談・来訪</td><td>240</td><td>69</td><td>171</td></tr><tr><td>翻訳支援</td><td>81</td><td>44</td><td>37</td></tr><tr><td>通訳支援等</td><td>65</td><td>63</td><td>2</td></tr></table>	区分		件数等	内訳		ウラジオ	境港	支援 件数	相談・来訪	240	69	171	翻訳支援	81	44	37	通訳支援等	65	63	2													
区分					件数等	内訳																												
		ウラジオ	境港																															
支援 件数	相談・来訪	240	69	171																														
	翻訳支援	81	44	37																														
	通訳支援等	65	63	2																														

事業名・内容		事業の実績等																																	
		・ 境港分の通訳・翻訳は国際BCへの依頼分を含む。 ※実績評価 年間相談件数 80％ 【成果】 ・ 県内企業のロシアへの輸出実績 8社28品目（継続輸出4社15品目） ・ 24年度に県内企業の商材が現地スーパーで販売されるスキームを構築し、同年からウラジオストク市において鳥取ブランド展を開催、商材の販促活動を定期的実施																																	
(5)北東アジア地域医療機器産業参入事業 医療機器分野でのビジネスマッチングを支援するため、江原道原州市のニーズ把握、展示会等における県内企業のPRを実施する。		【実績】 ○ 鳥取県からの委託に基づき、「韓国語版鳥取県受注企業ガイドブック」（300部）を作成 ○ 平成25年9月5日（木）～6日（金）に韓国原州で開催された「江原医療機器展示会」に出展した鳥取県ブースにおいて展示会来場者等への県内企業PRに活用																																	
【事業評価】 2 県内企業の海外展開の支援																																			
自己評価	評価理由																																		
B	① 県内企業海外チャレンジ補助金においては、目標10件に対し12件を採択し海外展開を支援した。また、海外サポーター調査事業や韓国語・ロシア語スタッフ及び専門相談員においては、件数及び内容において、企業の具体的な内容に沿った支援となっている。一方で、国際ビジネス支援アドバイス事業では、HP等で広報を行ったところであるが、利用件数がなかった。 ② ものづくり系企業の支援では、今年度新たに上海での企業同士のマッチング事業を行うなど、新たな展開を行った。また、韓国江原道TPとの経済交流事業に関して、両国企業による医工連携の分野での協業や共同開発などが実を結びつつあり、今後のものづくり系企業支援策の一つのモデルを構築することができた。 以上の実績等からB評価とした。																																		
○特記事項 ① 国際ビジネスセンターの開設以来、海外展開を行っている企業が増えている。（23年度以降12社） ③ ロシアビジネスサポートについて、24年度から継続してウラジオストク市内で物産展「鳥取ブランド展」を開催している。また、今年度は初めて中海市長会と共催するなど関係機関と連携して県内企業の商材の販路拡大を行っている。 ④ 補助事業実施後2年間にわたり状況報告を求めることとして制度改正を実施するなど成果の見える化も図っている。																																			
B 県内企業の経営改善を支援する																																			
1 相談窓口対応及び専門家の派遣																																			
(1) 専門家派遣事業 中小企業者の依頼により「ISO取得」「技術相談」「IT化の推進」「ビジネスプランの作成」「情報セキュリティ対応」など各分野の専門家（経営革新アドバイザー）を派遣する。 ※政策目標 派遣件数50件		【実績】 ○専門家派遣件数(申込受付ベース) <table><tr><th>項目名</th><th>件数</th><th>主な内容</th><th>備考 (特徴的なもの)</th></tr><tr><td>経営全般</td><td>11件</td><td>経営全般に関するアドバイス</td><td>生産管理改善支援他</td></tr><tr><td>技術</td><td>6件</td><td>商品開発にかかる技術レベルアップ</td><td>技術力ブラッシュアップ</td></tr><tr><td>ビジネスプラン</td><td>1件</td><td>新商品開発にかかるブランディング等</td><td>自社ブランド開発支援他</td></tr><tr><td>IT</td><td>8件</td><td>情報化支援</td><td>効率的なHPの構築他</td></tr><tr><td>ISO</td><td>11件</td><td>ISO取得支援</td><td></td></tr><tr><td>その他</td><td>15件</td><td>人材育成他</td><td></td></tr><tr><td>合計</td><td>52件</td><td></td><td></td></tr></table> (注) 専門家派遣の申込ベースでは延べ55社から申込があったが、3社からスケジュール等の都合がつかず取下げの申出あり。 ※実績評価 派遣件数年間目標達成率 104％（+2件） 【改善点】 ・ 今年度は、専門家派遣事業の認知度向上を図るため、当財団のHP、メルマガを活用し、企業に対し周知 ～専門家派遣件数：52件(申込受付ベース)となり、政策目標+2件上回った。		項目名	件数	主な内容	備考 (特徴的なもの)	経営全般	11件	経営全般に関するアドバイス	生産管理改善支援他	技術	6件	商品開発にかかる技術レベルアップ	技術力ブラッシュアップ	ビジネスプラン	1件	新商品開発にかかるブランディング等	自社ブランド開発支援他	IT	8件	情報化支援	効率的なHPの構築他	ISO	11件	ISO取得支援		その他	15件	人材育成他		合計	52件		
項目名	件数	主な内容	備考 (特徴的なもの)																																
経営全般	11件	経営全般に関するアドバイス	生産管理改善支援他																																
技術	6件	商品開発にかかる技術レベルアップ	技術力ブラッシュアップ																																
ビジネスプラン	1件	新商品開発にかかるブランディング等	自社ブランド開発支援他																																
IT	8件	情報化支援	効率的なHPの構築他																																
ISO	11件	ISO取得支援																																	
その他	15件	人材育成他																																	
合計	52件																																		

事業名・内容	事業の実績等																														
(2) 中小企業相談支援事業 経営改善を通じて県内企業の賃金支払能力の向上を図るとともに、経営改善によって変更される賃金制度、労働時間制度その他の各種労務問題の見直しを支援するため、機構に常駐する社会保険労務士が助言を行うほか、社会保険労務士の派遣を行う。 ※政策目標 相談50件、派遣100件	【実績】 ○最低賃金総合相談支援センターの支援状況 <table><tr><th>相談件数</th><th>派遣件数</th><th>主な相談内容</th></tr><tr><td>49件</td><td>85件</td><td>就業規則・賃金規程の作成アドバイス、労使協定・社会保険事務手続き等</td></tr></table> ※ 実績評価 <table><tr><td>年間目標達成率</td><td>相談</td><td>98%</td></tr><tr><td></td><td>派遣</td><td>85%</td></tr></table> ○セミナー実施 <table><tr><th>実施日</th><th>名称</th><th>講演内容・講師</th><th>参加者数</th></tr><tr><td>12/19</td><td>平成 25 年度 経営 労務 改 善セミナー</td><td>講演Ⅰ『量販店に囲まれても生き残る方法～そっとお教えします～』 講師：株式会社ヤマグチ（でんかのヤマグチ） 代表取締役 山口 勉 氏 講演Ⅱ『パワーハラスメントと予防策』 講師：門脇裕之社会保険労務士事務所 特定社会保険労務士 門脇 裕之 氏</td><td>45 名</td></tr></table> 【課題等】 ○支援センターの状況 - 派遣件数が計画を下回っているが、認知度向上のために再度リーフレット等で各支援機関等に広報している。また、当財団のHPやメルマガでも周知を図る予定。 - 米子図書館の改装により遅れていた出張相談についても、11月から月1回実施。 【成果】 ○経営労務改善セミナーアンケートについて ①講演Ⅰ 「講演内容の参考度」は、「大変参考になった」と「参考になった」を合せて86.2% 「講演内容のわかりやすさ」は、「大変わかりやすかった」と「わかりやすかった」を合せて82.8% ②講演Ⅱ 「講演内容の参考度」は、「大変参考になった」と「参考になった」を合せて92.6% 「講演内容のわかりやすさ」は、「大変わかりやすかった」と「わかりやすかった」を合せて88.5%	相談件数	派遣件数	主な相談内容	49件	85件	就業規則・賃金規程の作成アドバイス、労使協定・社会保険事務手続き等	年間目標達成率	相談	98%		派遣	85%	実施日	名称	講演内容・講師	参加者数	12/19	平成 25 年度 経営 労務 改 善セミナー	講演Ⅰ『量販店に囲まれても生き残る方法～そっとお教えします～』 講師：株式会社ヤマグチ（でんかのヤマグチ） 代表取締役 山口 勉 氏 講演Ⅱ『パワーハラスメントと予防策』 講師：門脇裕之社会保険労務士事務所 特定社会保険労務士 門脇 裕之 氏	45 名										
相談件数	派遣件数	主な相談内容																													
49件	85件	就業規則・賃金規程の作成アドバイス、労使協定・社会保険事務手続き等																													
年間目標達成率	相談	98%																													
	派遣	85%																													
実施日	名称	講演内容・講師	参加者数																												
12/19	平成 25 年度 経営 労務 改 善セミナー	講演Ⅰ『量販店に囲まれても生き残る方法～そっとお教えします～』 講師：株式会社ヤマグチ（でんかのヤマグチ） 代表取締役 山口 勉 氏 講演Ⅱ『パワーハラスメントと予防策』 講師：門脇裕之社会保険労務士事務所 特定社会保険労務士 門脇 裕之 氏	45 名																												
(3) 再生支援協議会 事業厳しい経済情勢の中で、大小の経営課題を抱えている中小企業に対し、経営相談から再生計画策定支援まで、きめ細かく様々な支援を行う。 また、「経営改善支援センター」を設置し、経営改善計画の策定等に係るきめ細かな相談を行う。 「経営改善支援センター」を設置し、経営改善計画の策定等に係る相談を行うほか、専門相談員の審査を受けた案件について、計画策定またはモニタリングの費用の間接的補助を行う。 ※政策目標 相談件数50件 再生計画策定完了件数36件 経営改善支援センター利用申請 50件	【実績】 ○再生計画の策定状況 <table><tr><th></th><th>繰越</th><th>新規</th><th>完了</th><th>移行</th><th>対応中</th></tr><tr><td>窓口相談</td><td>9</td><td>31</td><td>8</td><td>21</td><td>11</td></tr><tr><td>計画策定</td><td>7</td><td>15</td><td>19</td><td>—</td><td>3</td></tr></table> ○窓口相談等実績 <table><tr><td>事前相談件数</td><td>37件</td></tr><tr><td>処理状況</td><td>対応中 9件</td></tr><tr><td></td><td>1次対応移行 16件</td></tr><tr><td></td><td>終了 12件</td></tr></table> ○経営改善支援センター <table><tr><td>問合せ・相談</td><td>145件</td></tr><tr><td>利用申請</td><td>12件</td></tr></table> ※実績評価 再生計画の策定件数 目標36社に対し実績19件 改善支援センター 目標50件に対し実績12件 【成果】 ○再生計画策定企業に係る雇用の確保 1,008人(19社合計)		繰越	新規	完了	移行	対応中	窓口相談	9	31	8	21	11	計画策定	7	15	19	—	3	事前相談件数	37件	処理状況	対応中 9件		1次対応移行 16件		終了 12件	問合せ・相談	145件	利用申請	12件
	繰越	新規	完了	移行	対応中																										
窓口相談	9	31	8	21	11																										
計画策定	7	15	19	—	3																										
事前相談件数	37件																														
処理状況	対応中 9件																														
	1次対応移行 16件																														
	終了 12件																														
問合せ・相談	145件																														
利用申請	12件																														

事業名・内容		事業の実績等		
		(業種別内訳)		
		業種	先数	
		電機製造	1	
		食品製造	3	
		紡績	1	
		小売業	6	
		宿泊	4	
		飲食業	1	
		建築関係	2	
		サービス業	1	
【事業評価】 1 相談窓口対応及び専門家の派遣				
自己評価	評価理由			
B	① 専門家派遣事業においては、目標対比104%となった。一方、中小企業相談支援事業では相談件数・派遣件数ともに若干下回る実績となった。また、再生協議会支援事業では、24年度の実績を上回ったところであるが、目標数値を下回った。 ② 再生支援協議会事業では、再生支援計画の策定においては、25年度支援完了件数19件となり、24年度の8件に対し237.5%となっていること等からB評価としたこと。			
○特記事項				
① 再生支援計画の策定における雇用の確保は1,0008人となり、前年度比211%となっていること。 ② 企業の実態に即した再生計画の策定支援として、債権放棄やDDS等の適切な抜本的再生手法による支援を実施（債権放棄1件、DDS 2件） ③ 金融機関との連携強化により窓口相談件数は増加(前年比5件増の31件) ④ 引き続き、県中小企業診断士協会との連携により、地域における経営改善・事業再生への対応能力の底上げを実施する。				
2 経営改善等に関する各種セミナーの開催				
(1)ものづくりカイゼン塾事業 ものづくり企業の競争力を高めるため、生産管理の重要性、提案力・プレゼンテーションの向上を目指したセミナーを開催する。 ※政策目標 セミナー開催4回、100人参加	【実績】			
	○セミナー等開催状況			
	実施日	名称	講師・講演内容	参加者数
	4/18	難局を突破！経営力強化セミナー	講演① ・山内 康仁 氏「ものづくりの原点回帰」（アイシン精機㈱相談役） 講演② ・山中 一弘 氏「改善の現場から匠・名工へ」（アイシン精機㈱新豊工場）	104名
		意見交換会	・山内 康仁 氏 ・山中 一弘 氏	(21名)
	7/11・12	生産現場カイゼン講座(東部会場)	・加藤 圭一 氏 (㈱アルマ経営研究所執行役員チーフコンサルタント)	延べ45名
	7/16・17	生産現場カイゼン講座(西部会場)	・加藤 圭一 氏 (㈱アルマ経営研究所執行役員チーフコンサルタント)	延べ46名
	8/10	デザイナーのための商品開発・販路開拓セミナー	・大平 孝 氏 (㈱ゴールドボン代表取締役)	15名
	8/20	商品開発・企画力向上セミナー	・山村 真一 氏 (㈱コボ代表取締役社長) →個別企業相談会(4社)を実施	44名
	8/27・28	マーケティング・販売戦略セミナー	・大平 孝 氏 (㈱ゴールドボン代表取締役) →個別企業相談会(商品ブラッシュアップ)を実施	延べ75名
10/9 (米子市)	中国地域医療機器関連産業支援フォーラム in とっとり	・大平 猛 氏 (九州大学先端医療イノベーションセンター教授) ・植木 賢 氏 (鳥取大学次世代高度医療推進センター特命准教授) 他5名 →フォーラム後、大平教授、植木准教	106名	

事業名・内容	事業の実績等																													
	2/18	医療機器関連産業 新規参入セミナー (鳥取市)	授によるグループワークを開催 ・大平 猛 氏 (九州大学先端医療イノベーション センター教授) ・藤井 留幸 氏 (株エフオー代表取締役) →セミナー後、大平教授を座長とした グループワークを開催	62名																										
	○セミナー等開催後の個別相談、グループワークの状況は別添資料のとおり。 ※実績評価 セミナーを8回開催し、延べ497名参加 目標対比 回数 200% (+4回)、人数 497% (+397名)																													
(2) ISO等取得促進事業 県内企業のISO認証取得に 必要となる人材を育成するため、 ISO (9001、14001) 内部監査 員の養成セミナーを実施する。 ※政策目標 セミナー開催4回、 100人参加	【実績】 ○実施状況 <table><tr><th>開催場所</th><th>セミナー名</th><th>受講者数</th><th>備考</th></tr><tr><td>東部地区1回</td><td rowspan="2">ISO9001 内部品質監査員養成セ ミナー</td><td>28名</td><td>8/7 ～8/9</td></tr><tr><td>西部地区1回</td><td>12名</td><td>9/18～9/20</td></tr><tr><td>東部地区1回</td><td rowspan="2">ISO14001 内部環境監査員養成 セミナー</td><td>17名</td><td>10/8～10/10</td></tr><tr><td>西部地区1回</td><td>11名</td><td>11/12～11/14</td></tr></table> 【課題等】 ・東部地区は応募者もある程度集まり、予定通り実施 ・前年度まで中部地区で第2回目を実施していたが、西部地区での開催を求める声があり25年 度は米子で実施したが、9001、14001とも参加者が少なく、実施場所の再検討が必要				開催場所	セミナー名	受講者数	備考	東部地区1回	ISO9001 内部品質監査員養成セ ミナー	28名	8/7 ～8/9	西部地区1回	12名	9/18～9/20	東部地区1回	ISO14001 内部環境監査員養成 セミナー	17名	10/8～10/10	西部地区1回	11名	11/12～11/14								
開催場所	セミナー名	受講者数	備考																											
東部地区1回	ISO9001 内部品質監査員養成セ ミナー	28名	8/7 ～8/9																											
西部地区1回		12名	9/18～9/20																											
東部地区1回	ISO14001 内部環境監査員養成 セミナー	17名	10/8～10/10																											
西部地区1回		11名	11/12～11/14																											
(3) 情報化基盤整備促進事業 県内中小企業の情報化を支援 するため、当財団内に情報化に対 応する専門の職員を配置し、ソフ トウェアや情報機器、ICTを活 用のためのセミナー等を開催す る。 ※政策目標 セミナー開催1回、 100人参加	【実績】 ○実施状況 <table><tr><th>区分</th><th>セミナー内容</th><th>アンケート等</th></tr><tr><td>第1回</td><td>・セミナー名：IT関連セミナー「タブレ ット・スマートフォンを活用した中小企 業のIT化セミナー」 ・講 師：(株)ナレッジ21 代表取締役 横屋 俊一氏 ・実施日：12/18 参加者：36名</td><td>94%が満足、やや満足と回答</td></tr><tr><td>第2回</td><td>・セミナー名：IT関連セミナー「クラウ ドを活用した情報発信セミナー ～その 場で簡単に作る美しいホームページ～」 ・講 師：(株)ナレッジ21 代表取締役 横屋 俊一氏 ・実施日：3/4 参加者：12名</td><td>作成演習を取り入れた内容 は実情に沿うものもあり、 企業の満足度も高かった。 しかし、時間が短いなどの 声もあり、複数回の実施を 視野に構築</td></tr></table>				区分	セミナー内容	アンケート等	第1回	・セミナー名：IT関連セミナー「タブレ ット・スマートフォンを活用した中小企 業のIT化セミナー」 ・講 師：(株)ナレッジ21 代表取締役 横屋 俊一氏 ・実施日：12/18 参加者：36名	94%が満足、やや満足と回答	第2回	・セミナー名：IT関連セミナー「クラウ ドを活用した情報発信セミナー ～その 場で簡単に作る美しいホームページ～」 ・講 師：(株)ナレッジ21 代表取締役 横屋 俊一氏 ・実施日：3/4 参加者：12名	作成演習を取り入れた内容 は実情に沿うものもあり、 企業の満足度も高かった。 しかし、時間が短いなどの 声もあり、複数回の実施を 視野に構築																	
区分	セミナー内容	アンケート等																												
第1回	・セミナー名：IT関連セミナー「タブレ ット・スマートフォンを活用した中小企 業のIT化セミナー」 ・講 師：(株)ナレッジ21 代表取締役 横屋 俊一氏 ・実施日：12/18 参加者：36名	94%が満足、やや満足と回答																												
第2回	・セミナー名：IT関連セミナー「クラウ ドを活用した情報発信セミナー ～その 場で簡単に作る美しいホームページ～」 ・講 師：(株)ナレッジ21 代表取締役 横屋 俊一氏 ・実施日：3/4 参加者：12名	作成演習を取り入れた内容 は実情に沿うものもあり、 企業の満足度も高かった。 しかし、時間が短いなどの 声もあり、複数回の実施を 視野に構築																												
3 設備貸与事業等																														
(1) 中小企業ハイテク設備貸与事業 (2) 設備貸与事業 (3) 創造的中小企業育成支援事業 (4) 新産業創造支援事業	○債権回収等の状況 (平成19年度から新規貸付を停止。現在は債権の管理回収のみ) <table><tr><th>区分</th><th>中小企業ハイテク設 備貸与事業</th><th>設備貸与事業</th><th>備考</th></tr><tr><td>正常先</td><td>0社</td><td>0社</td><td></td></tr><tr><td>未収先</td><td>0社</td><td>2社</td><td></td></tr><tr><td>破綻先</td><td>0社</td><td>2社</td><td></td></tr></table> ○破綻先、未収先からの回収状況 <table><tr><th>事業名</th><th>金額(円)</th></tr><tr><td>中小企業ハイテク設備貸与事業</td><td>681,600</td></tr><tr><td>設備貸与事業</td><td>7,735,440</td></tr><tr><td>創造的中小企業育成支援事業</td><td>255,500</td></tr><tr><td>合 計</td><td>8,672,540</td></tr></table> ※現在は上記債権及び償却済債権の求償権の管理・回収のみ ※中小企業ハイテク設備貸与事業の未収先(1社)・破綻先(4社)については、H26/2月に すべて償却済み ※設備貸与事業の未収先・破綻先の4社については、26年度中に償却予定。				区分	中小企業ハイテク設 備貸与事業	設備貸与事業	備考	正常先	0社	0社		未収先	0社	2社		破綻先	0社	2社		事業名	金額(円)	中小企業ハイテク設備貸与事業	681,600	設備貸与事業	7,735,440	創造的中小企業育成支援事業	255,500	合 計	8,672,540
区分	中小企業ハイテク設 備貸与事業	設備貸与事業	備考																											
正常先	0社	0社																												
未収先	0社	2社																												
破綻先	0社	2社																												
事業名	金額(円)																													
中小企業ハイテク設備貸与事業	681,600																													
設備貸与事業	7,735,440																													
創造的中小企業育成支援事業	255,500																													
合 計	8,672,540																													

事業名・内容		事業の実績等																																																																		
【事業評価】 2 経営改善等に関する各種セミナーの開催 3 設備貸与事業等																																																																				
自己評価		評価理由																																																																		
B		① ものづくりカイゼン塾においては、目標対比497%と大きく上回っていること。一方、ISO等取得促進事業及び情報化基盤整備促進事業では、目標対比68%、48%で受講者数が低位となっていること。 ② ものづくりカイゼン塾では、セミナーの開催に止まらず、個別相談、グループワークを開催し、商品化に向けた積極的な取組みを行ったところであり、商品化に着手したもの1件、ブラッシュアップ商品の展示会への出展2件等の成果も現れていることから、B評価としたこと。																																																																		
○特記事項																																																																				
① 個別相談会やグループワークの開催など新たな試みを行い、参加企業の具体的な成果が出つつある。今後ともこのような取り組みを進めるとともに、重点支援案件の設定、チーム型支援等さらに強力な企業支援の取組みを進めていくこととする。																																																																				
II 県内企業の技術及び経営の革新の支援																																																																				
A ベンチャー企業の創出及び育成を支援する																																																																				
1 ベンチャー企業創出・育成支援事業																																																																				
(1)ベンチャー支援グループによる総合的な支援 ア コーディネーターによる総合的な支援 企業ごとに担当者を決め、経営者のパートナーとして各種課題に対し総合支援を行う。ベンチャー企業と信頼の高い専門家、試験研究機関、大学等をマッチングするなどして、十分な理解と評価を受け、さらに磨きあげることでビジネスに結びつくよう支援する。 イ 専門家との顧問契約による相談体制の整備 ベンチャー企業の技術評価、法務、会計その他企業経営に係る諸課題に関し、ベンチャー企業等が顧問契約をした専門家に、タイムリーにかつ深く相談できるバックアップ体制を構築する。		【実績】 ○専門家による相談対応 <table><tr><th>件数</th><th>備 考</th></tr><tr><td>18件</td><td>ベンチャー企業向け相談体制</td></tr><tr><td>19件</td><td>創業者の発掘のため、新たに図書館及び中小企業診断士協会と連携して創業相談会の運営を開始、創業者が中小企業診断士に相談できる体制を構築。</td></tr></table> ○事業説明による推進 11/19 創業塾（鳥取商工会議所主催） 参加者35名 【改善点】 ○ ベンチャー企業の課題把握・解決を支援するため、年度内5社を目標に専門家（中小企業診断士）と連携して経営支援に取り組む。（1～3月実施） ○新たに10/10 米子市立図書館、日本政策金融公庫米子支店とも企業支援の連携協力に関する協定書を締結。締結済の各図書館と合わせ、全県を網羅する創業相談窓口を構築 相談件数19件				件数	備 考	18件	ベンチャー企業向け相談体制	19件	創業者の発掘のため、新たに図書館及び中小企業診断士協会と連携して創業相談会の運営を開始、創業者が中小企業診断士に相談できる体制を構築。																																																									
件数	備 考																																																																			
18件	ベンチャー企業向け相談体制																																																																			
19件	創業者の発掘のため、新たに図書館及び中小企業診断士協会と連携して創業相談会の運営を開始、創業者が中小企業診断士に相談できる体制を構築。																																																																			
(2)とっとり発ベンチャー企業補助金 創業時の資金負担を大きく軽減し、活発な起業を促進するため、創業に係る経費及び創業後一定期間に要する家賃や光熱費など一般的な管理費の一部を助成する。 ※政策目標 新規採択件数9件		【実績】 ○採択状況 <table><tr><th>審査会</th><th>申請件数</th><th>採択件数</th><th>交付決定額</th></tr><tr><td>第1回5/31</td><td>2件</td><td>2件</td><td>2件 10,000千円</td></tr><tr><td>第2回7/31</td><td>1件</td><td>0件</td><td>—</td></tr><tr><td>第3～5回公募</td><td colspan="3">応募なし</td></tr></table> ※実績評価 採択件数2件（△7件） 【成果】〈累積支援件数〉 ・育成支援事業開始（23.11）～25.12までの申請企業の事業化状況 起業数23社／申請企業数25社 内訳：採択19社（うち起業19社）、不採択6社（うち起業4社） ・23年度以降の採択（起業）企業19社による雇用の創出 正規職員53人、職員合計90人 ○内訳 <table><tr><th colspan="2">採択年度</th><th>23年度</th><th>24年度</th><th>25年度</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="8">業種</td><td>農林水産資源</td><td>2</td><td>1</td><td></td><td></td></tr><tr><td>コミュニティ</td><td>2</td><td>2</td><td></td><td></td></tr><tr><td>リサイクル</td><td>1</td><td>2</td><td></td><td></td></tr><tr><td>バイオ</td><td></td><td>1</td><td></td><td></td></tr><tr><td>健康・福祉サービス</td><td></td><td>4</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>医療・観光</td><td></td><td>1</td><td></td><td></td></tr><tr><td>IT関連</td><td></td><td>1</td><td></td><td></td></tr><tr><td>電気機械</td><td></td><td></td><td>1</td><td></td></tr></table>				審査会	申請件数	採択件数	交付決定額	第1回5/31	2件	2件	2件 10,000千円	第2回7/31	1件	0件	—	第3～5回公募	応募なし			採択年度		23年度	24年度	25年度	備考	業種	農林水産資源	2	1			コミュニティ	2	2			リサイクル	1	2			バイオ		1			健康・福祉サービス		4	1		医療・観光		1			IT関連		1			電気機械			1	
審査会	申請件数	採択件数	交付決定額																																																																	
第1回5/31	2件	2件	2件 10,000千円																																																																	
第2回7/31	1件	0件	—																																																																	
第3～5回公募	応募なし																																																																			
採択年度		23年度	24年度	25年度	備考																																																															
業種	農林水産資源	2	1																																																																	
	コミュニティ	2	2																																																																	
	リサイクル	1	2																																																																	
	バイオ		1																																																																	
	健康・福祉サービス		4	1																																																																
	医療・観光		1																																																																	
	IT関連		1																																																																	
	電気機械			1																																																																

事業名・内容	事業の実績等																							
		合計	5	12	2																			
	職種別	正職員	12	27	14																			
		正職員以外	0	30	7																			
(3) ビジネスプランコンテスト及びシンポジウムの開催 起業者の掘り起こし及び事業の高度化を目的として、技術やビジネスモデルに関して、専門家が客観的な評価・アドバイスを行うビジネスプランコンテストを開催する。 また、コンテスト表彰式に合わせて、起業成功者による講演やコンテスト受賞者による発表会等で構成するシンポジウムを開催する。	【実績】 ○第3回ビジネスプランコンテスト・シンポジウム (年1回開催、申請件数：16件) <table><tr><th>項目</th><th>目的等</th><th>内容</th></tr><tr><td>プレゼンテーションセミナー (11/22 実施、参加者12名)</td><td> 1次審査通過者及びベンチャー補助金採択者を対象にプレゼン力のスキルアップを図るセミナーを開催 - 交流カフェを開催し創業者同士の仲間づくりや連携を支援（申請者と支援企業に対するフォローアップ及び交流の場として提供） </td><td> - 講師：あだち人材育成研究所 所長 足立博俊 氏 講演内容「プレゼン力向上セミナー」 - 講師：日本政策金融公庫 鳥取支店 本田融資課長 講演内容「創業における資金調達」 </td></tr><tr><td>シンポジウムの開催 (2/14)</td><td></td><td> - 講演講師 経済ジャーナリスト 内田裕子 氏 - 講演内容「取材現場から見える日本経済と負けない中小企業経営」 </td></tr></table> ○コンテスト受賞者（シンポジウム当日に最優秀賞者等を発表） <table><tr><th>会社名</th><th>事業名</th></tr><tr><td>最優秀賞 三光(株)</td><td>井戸海水及び工場廃熱を利用した高級魚キジハタのハイブリッド型閉鎖循環陸上養殖事業</td></tr><tr><td>優秀賞 (株)結</td><td>精神障害者の地域移行を支援する新たな訪問看護事業</td></tr><tr><td>優秀賞 (株)Ma o</td><td>知的障害者及び発達障害者を対象に、カルチャースクールを設置し、障害者の自立支援と自立促進を図り、支援者を増やす</td></tr><tr><td>優秀賞 (有)森の国</td><td>学校・企業などグループ研修として仲間同士の心をつなぐ冒険教育プログラム</td></tr></table> 【成果】 ・事業化状況 第1回受賞企業 事業化数4社/受賞4社 					項目	目的等	内容	プレゼンテーションセミナー (11/22 実施、参加者12名)	1次審査通過者及びベンチャー補助金採択者を対象にプレゼン力のスキルアップを図るセミナーを開催 - 交流カフェを開催し創業者同士の仲間づくりや連携を支援（申請者と支援企業に対するフォローアップ及び交流の場として提供）	- 講師：あだち人材育成研究所 所長 足立博俊 氏 講演内容「プレゼン力向上セミナー」 - 講師：日本政策金融公庫 鳥取支店 本田融資課長 講演内容「創業における資金調達」	シンポジウムの開催 (2/14)		- 講演講師 経済ジャーナリスト 内田裕子 氏 - 講演内容「取材現場から見える日本経済と負けない中小企業経営」	会社名	事業名	最優秀賞 三光(株)	井戸海水及び工場廃熱を利用した高級魚キジハタのハイブリッド型閉鎖循環陸上養殖事業	優秀賞 (株)結	精神障害者の地域移行を支援する新たな訪問看護事業	優秀賞 (株)Ma o	知的障害者及び発達障害者を対象に、カルチャースクールを設置し、障害者の自立支援と自立促進を図り、支援者を増やす	優秀賞 (有)森の国	学校・企業などグループ研修として仲間同士の心をつなぐ冒険教育プログラム
項目	目的等	内容																						
プレゼンテーションセミナー (11/22 実施、参加者12名)	1次審査通過者及びベンチャー補助金採択者を対象にプレゼン力のスキルアップを図るセミナーを開催 - 交流カフェを開催し創業者同士の仲間づくりや連携を支援（申請者と支援企業に対するフォローアップ及び交流の場として提供）	- 講師：あだち人材育成研究所 所長 足立博俊 氏 講演内容「プレゼン力向上セミナー」 - 講師：日本政策金融公庫 鳥取支店 本田融資課長 講演内容「創業における資金調達」																						
シンポジウムの開催 (2/14)		- 講演講師 経済ジャーナリスト 内田裕子 氏 - 講演内容「取材現場から見える日本経済と負けない中小企業経営」																						
会社名	事業名																							
最優秀賞 三光(株)	井戸海水及び工場廃熱を利用した高級魚キジハタのハイブリッド型閉鎖循環陸上養殖事業																							
優秀賞 (株)結	精神障害者の地域移行を支援する新たな訪問看護事業																							
優秀賞 (株)Ma o	知的障害者及び発達障害者を対象に、カルチャースクールを設置し、障害者の自立支援と自立促進を図り、支援者を増やす																							
優秀賞 (有)森の国	学校・企業などグループ研修として仲間同士の心をつなぐ冒険教育プログラム																							

事業名・内容		事業の実績等																																						
		【成果】 ・採択企業55社による雇用の創出 正規職員54人、職員合計108人 ○内訳 <table><tr><th colspan="2">業 種 等</th><th>人数</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="13">正職員</td><td>農業</td><td>3</td><td rowspan="13">○ 高齢化社会を迎え、医療・介護関係の開業が増加傾向であること。また、サービス業でも食料品や電気製品の配達、遺品整理等高齢者向けのサービスが増加</td></tr><tr><td>飲食業</td><td>15</td></tr><tr><td>医療・介護</td><td>7</td></tr><tr><td>食品製造業</td><td>5</td></tr><tr><td>機械製造業</td><td>2</td></tr><tr><td>その他製造業</td><td>2</td></tr><tr><td>小売業</td><td>8</td></tr><tr><td>理容美容業</td><td>4</td></tr><tr><td>宿泊業</td><td>2</td></tr><tr><td>サービス業</td><td>4</td></tr><tr><td>IT関連業</td><td>1</td></tr><tr><td>エネルギー関連業</td><td>2</td></tr><tr><td>合計</td><td>54</td></tr><tr><td colspan="2">正職員以外</td><td>54</td><td>○ 飲食業、理容美容業等生活関連の開業が多いこと。</td></tr></table>			業 種 等		人数	備考	正職員	農業	3	○ 高齢化社会を迎え、医療・介護関係の開業が増加傾向であること。また、サービス業でも食料品や電気製品の配達、遺品整理等高齢者向けのサービスが増加	飲食業	15	医療・介護	7	食品製造業	5	機械製造業	2	その他製造業	2	小売業	8	理容美容業	4	宿泊業	2	サービス業	4	IT関連業	1	エネルギー関連業	2	合計	54	正職員以外		54	○ 飲食業、理容美容業等生活関連の開業が多いこと。
業 種 等		人数	備考																																					
正職員	農業	3	○ 高齢化社会を迎え、医療・介護関係の開業が増加傾向であること。また、サービス業でも食料品や電気製品の配達、遺品整理等高齢者向けのサービスが増加																																					
	飲食業	15																																						
	医療・介護	7																																						
	食品製造業	5																																						
	機械製造業	2																																						
	その他製造業	2																																						
	小売業	8																																						
	理容美容業	4																																						
	宿泊業	2																																						
	サービス業	4																																						
	IT関連業	1																																						
	エネルギー関連業	2																																						
	合計	54																																						
正職員以外		54	○ 飲食業、理容美容業等生活関連の開業が多いこと。																																					
【事業評価】 A ベンチャー企業の創出及び育成を支援する																																								
自己評価	評価理由																																							
B	① ベンチャー企業の創出・育成支援事業では、目標9件に対し採択件数2件と22%の実績となっている。 ② 国の24年度補正予算で導入された地域需要創造型起業・創業補助金では、目標50件に対し55件の採択となっており、これらから判断してB評価とした。																																							
○特記事項																																								
① ベンチャー企業の創出・育成支援事業では、事業創設以降3年間で新たな雇用90人を創出した。 ② 地域需要創造型起業・創業促進事業では、1年間で108人の新たな雇用の創出を行った。																																								
B 成長産業分野の産業集積を支援する																																								
1 自動車部品関連産業の育成の支援																																								
(1)エコカー関連産業育成・支援事業		【実績】																																						
商談会や企業訪問等により、県内外のEVメーカーと県内企業（部品関連）とのマッチングを促進するとともに、企業の新製品・技術開発、製品の安全性確保対策等へのアドバイス等の支援を行うため、推進チームを設置する。		○EVメーカー支援状況 具体的な内容は別添資料のとおり。																																						
		<table><tr><th>項 目</th><th>実績</th></tr><tr><td>ナノ社相談（訪問） 件数</td><td>11件</td></tr><tr><td>ナノ社支援件数</td><td>10件</td></tr><tr><td>デンバ社相談（訪問） 件数</td><td>5件</td></tr><tr><td>デンバ社支援件数</td><td>5件</td></tr><tr><td>エコカー関係者会議回数</td><td>8回</td></tr></table>			項 目	実績	ナノ社相談（訪問） 件数	11件	ナノ社支援件数	10件	デンバ社相談（訪問） 件数	5件	デンバ社支援件数	5件	エコカー関係者会議回数	8回																								
項 目	実績																																							
ナノ社相談（訪問） 件数	11件																																							
ナノ社支援件数	10件																																							
デンバ社相談（訪問） 件数	5件																																							
デンバ社支援件数	5件																																							
エコカー関係者会議回数	8回																																							
		注）ナノ社：ナノテクノス・エジー デンバ社：デンバジャパン																																						
		【その他】																																						
		・ ナノ社に関しては、4月に発売されたUNIMOの量産が立上ることを中心に支援。6/26に県内企業との商談会を実施。 10月より20台分の生産をスタート。金額ベースで全体の約2割（400万円）を県内企業12社へ発注。生産設備は溶接ロボットが3月に稼働予定 ・ デンバ社に関しては、国交省型式認定の取得を中心に支援。11/7に調査結果一式を提供したが、その直後(11/7)に工場閉鎖となった。																																						
(2)自動車部品関連産業育成事業		【実績】																																						
県内企業の自動車業界への参入等を支援するため、鳥取県内の産学官連携の強化はもとより、従来の地域内サプライヤーや県外の自動車メーカー、その関連企業及び次世代自動車に向けて先進的な活動を行う広島・岡山県等の研究会等と情報交流する。		県内企業80社（自動車部品機能構造研究会参加43社を含む。）を抽出し、自動車分野への参入、受注拡大を支援（自動車分野への参入24社、受注拡大56社）																																						
※政策目標 セミナー開催2回		○自動車部品関連企業支援状況 内訳は別添資料のとおり。																																						
		<table><tr><th>項 目</th><th>実績</th></tr><tr><td>セミナー開催</td><td>1回</td></tr><tr><td>研究会だより発行</td><td>10回</td></tr><tr><td>研究会ニュース発行</td><td>14回</td></tr></table>			項 目	実績	セミナー開催	1回	研究会だより発行	10回	研究会ニュース発行	14回																												
項 目	実績																																							
セミナー開催	1回																																							
研究会だより発行	10回																																							
研究会ニュース発行	14回																																							

事業名・内容	事業の実績等			
	相談（訪問）件数		143件	
	県外販路開拓件数		9件	
	支援事案件数		11件	
	展示会・セミナー情報展開件数		14件	
	展示会出展等支援件数		3件	
	中国・九州地域情報交流回数		5回	
	【改善点等】			
	・セミナーと同時に、日常の情報提供も重要との判断から政策目標を修正 （セミナーを2回から1回とし、研究会だより追加）			
	・他県主催セミナーなどの情報展開を目的に「研究会ニュース」を発行することとした。			
	【成果】			
・以下のマッチング事例に進展				
受注企業		発注企業	内容	備考
(株)ミトクハーネス		ジヤトコ（株）	断熱塗料の試験採用	受注拡大
アイエム電子（株）		（株）久保田鐵工所	電子基板の受注	受注拡大
アイエム電子（株）		NSウエスト（株）	安定的な受注体制	
サングレス（株）		（株）ユニバンス	組立部品案件の受注	受注拡大
2 リサイクル産業等環境分野の集積の支援				
(1) リサイクル産業クラスター形成支援事業				
リサイクル産業クラスターを形成し、新たなリサイクルビジネスの創出を促進するため、リサイクル産業クラスターコーディネーターを配置する。				
※政策目標 新たにリサイクルビジネスへの新規参入企業10件				
【実績】				
○コーディネーター活動状況 ・相談件数等				
支援項目		件数等		
企業訪問（延べ件数）		340社		
うち 新規企業		46社		
研究会・検討会開催		26回		
○リサイクル産業クラスター形成の状況（研究会・検討会等） 内訳は別添資料のとおり。				
期日	名称/参加者等			
3/24	廃棄イチジクの機能性評価、商品化研究（出席者 6名）			
2/21	焼却灰リサイクル検討会（出席者 8名）			
2/12	環境リサイクル交流会（出席者48名）			
2/4	焼却灰リサイクル推進委員会（出席者15名）			
1/9	バイオマスボイラー開発検討会（出席者5名）			
12/24	もみ殻燃料化装置（出席者12名）			
12/16	バイオマスボイラー開発（出席者6名）			
12/3	焼却灰リサイクル（出席者6名）			
11/15	人工海底山脈（鉄鋼スラグ、フライアッシュ有効利用）（出席者8名）			
10/21	桑の葉エキス（出席者8名）			
10/18	人工海底山脈構想（鉄鋼スラグ、フライアッシュ有効利用）（出席者5名）			
9/18	廃鋳物砂利活用検討会（出席者8名）			
8/19	焼却灰リサイクル検討会（出席者9名）			
7/10	和のアロマ商品化検討会（出席者9名）			
7/2	研究会の開催「都市緑化研究会」（参加者：8名）			
7月～	「吾左衛門鮓の廃棄ロスの低減」			
6/14	研究会の開催			
	「鳥取・島根連携鉄鋼スラグ等商品化研究会」（参加者：28名）			
	講演会の開催： 「進化する人工海底山脈」（参加者：38名）			
5月～	「鳥取県版」紙おむつ処理装置の開発			
○新規リサイクルビジネス企業12社				
企業名		テーマ		
体験農場ナオ		廃棄イチジクの機能性評価、商品化研究		
鳥取西部農業協同組合		もみ殻リサイクル		

事業名・内容	事業の実績等										
	鳥取中央農協										
	myAN(株)	小豆残渣リサイクル									
	(有)藤本研磨材商会	廃瓦有効利用、用途開発									
	(株)クエス										
	(有)今松工務店	桑の葉、エキス有効利用									
	(株)エプト	ガラス（発泡ガラス）用途開発									
	(株)真木自動車	もみ殻リサイクル									
	(株)米吾	吾左衛門鮓の廃棄ロス低減									
	(株)YSエンジニアリング	サトウキビトラッシュ選別									
	タングルウッド(株)	乳業廃棄物の産業的利用									
○事業化、商品化に向けた補助事業利用による支援（取組みには補助事業の支援が不可欠） 支援企業等は別添資料のとおり。 ・ものづくり事業化応援補助金（調査型） 新規2件 ・研究開発事業 新規3件 ・リサイクル技術製品実用化事業 継続1件、新規1件 ・リサイクルビジネスモデル支援事業 新規2件 ・鳥取県農商工連携ファンド事業 新規1件 ※実績評価 政策目標 新たにリサイクルビジネスへの新規参入企業 120%（+2 社） 【成果】 新規リサイクル参入企業 12 社の取組みを支援											
(2) リサイクル製品販売強化事業 リサイクル製品の持つ特殊性や企業の課題を調査・分析し、戦略的に販路開拓を進めるため、リサイクル企業の活動をサポートするコーディネーターを配置する。 ※政策目標 販路開拓件数 10 件	【実績】 ○販路開拓支援件数 16 社 内訳は別添資料のとおり。 ○販路支援に向けた取り組み ・見本市等の情報提供及び出展支援 ①環境展：大協組、赤松産業（5/21～24） ②とっとり産業フェスティバル（9/6～7） ③びわ湖ビジネスメッセ（10/24～26）鳥取県グリーン商品普及協議会 ④エコプロダクツ：鳥取再資源化研究所、藤森産業機械（12/12～14） ⑤建築建材展：(株)エコマ（3/4～3/7） ・リサイクル商品の市町村等へのPR ※実績評価 販路開拓件数 年間目標達成率 160%（+6 社） 【成果】 16 社の受注拡大を支援										
(3) 次世代環境産業創出プロジェクト事業 再生可能エネルギー及びLED分野において、事業の可能性が見いだされ、かつ県の進める施策に関連した必要性の高いテーマについて、異分野・企業間の連携による新たな価値や高付加価値の製品の研究開発を推進する。 ※政策目標 新規計画件数 1 件	【実績】 <table><tr><th>区分</th><th>事業名</th><th>実施状況</th></tr><tr><td>新規事業</td><td>太陽電池用小型過電流遮断器の開発、直流遮断技術の効率化及び実証検証（旭東電気：H25～26）</td><td>・市場品構造調査と研究方法の立案（H26.1）</td></tr><tr><td>継続事業</td><td>屋外空間演出用LED照明機器の開発・実証（H24～25）</td><td>・関係者協議（H25.4 H25.5 H25.6） ・LED照明機器の開発・納入（H25.7） ・鳥取駅北口広场景観演出照明実証開始（H25.8） ～ 8/7点灯式で開始しH26/3末で実証実験終了</td></tr></table> ※実績評価 新規計画件数 100% 【成果】 ・照明デザイナーとの協働により景観演出用照明機器の開発ノウハウを習得 ～機器開発参加企業5社、機器製品6種		区分	事業名	実施状況	新規事業	太陽電池用小型過電流遮断器の開発、直流遮断技術の効率化及び実証検証（旭東電気：H25～26）	・市場品構造調査と研究方法の立案（H26.1）	継続事業	屋外空間演出用LED照明機器の開発・実証（H24～25）	・関係者協議（H25.4 H25.5 H25.6） ・LED照明機器の開発・納入（H25.7） ・鳥取駅北口広场景観演出照明実証開始（H25.8） ～ 8/7点灯式で開始しH26/3末で実証実験終了
区分	事業名	実施状況									
新規事業	太陽電池用小型過電流遮断器の開発、直流遮断技術の効率化及び実証検証（旭東電気：H25～26）	・市場品構造調査と研究方法の立案（H26.1）									
継続事業	屋外空間演出用LED照明機器の開発・実証（H24～25）	・関係者協議（H25.4 H25.5 H25.6） ・LED照明機器の開発・納入（H25.7） ・鳥取駅北口広场景観演出照明実証開始（H25.8） ～ 8/7点灯式で開始しH26/3末で実証実験終了									

事業名・内容	事業の実績等																												
	・成果物（開発品）のマッチング支援として展示会出展 ・景観演出照明分野（日本庭園）に新たな商談が成立（平成26年4月納入）																												
(4)次世代環境ビジネスを支える技術等向上事業 太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギー設備の施工や維持管理のための基礎知識及び技術取得のための講座を開催する。	【実績】 ○実施状況 内訳は別添資料のとおり。 ・太陽光発電システム施工・維持管理研修(全8講座)を開催実施（講師：吉富 政宣氏、北川 孝太郎氏（補助））（受講期間：6月～11月、受講者：48名） ・募集定員（東部会場・西部会場とも）各35名に対し、東部33名、西部15名の応募～東部はほぼ100%となったが、西部は約40%と募集方法等について課題が残った。 【成果】 <table><tr><th>項目</th><th>回答等</th></tr><tr><td>総合的な理解度</td><td>理解できた0%、まあまあ理解できた40%、どちらとも言えない36%、あまり理解できない24%、理解できない0%</td></tr><tr><td>どんな点が実際の現場で生かせそうか（抜粋）</td><td> ・危険性の理解に役立った ・基本構造がなんとなく分かり、故障診断の仕方・意味が分かった。これから現場等で勉強して行きたい。 </td></tr><tr><td>知識の向上等に役立たない場合、具体的にどんな点に問題があったか（抜粋）</td><td> ・電気用語が難しく、半分も理解できない。構造計算は理解できるけれど…。 ・仕事に関連付けるのは、今の私の理解力では難しい。 </td></tr></table>	項目	回答等	総合的な理解度	理解できた0%、まあまあ理解できた40%、どちらとも言えない36%、あまり理解できない24%、理解できない0%	どんな点が実際の現場で生かせそうか（抜粋）	・危険性の理解に役立った ・基本構造がなんとなく分かり、故障診断の仕方・意味が分かった。これから現場等で勉強して行きたい。	知識の向上等に役立たない場合、具体的にどんな点に問題があったか（抜粋）	・電気用語が難しく、半分も理解できない。構造計算は理解できるけれど…。 ・仕事に関連付けるのは、今の私の理解力では難しい。																				
項目	回答等																												
総合的な理解度	理解できた0%、まあまあ理解できた40%、どちらとも言えない36%、あまり理解できない24%、理解できない0%																												
どんな点が実際の現場で生かせそうか（抜粋）	・危険性の理解に役立った ・基本構造がなんとなく分かり、故障診断の仕方・意味が分かった。これから現場等で勉強して行きたい。																												
知識の向上等に役立たない場合、具体的にどんな点に問題があったか（抜粋）	・電気用語が難しく、半分も理解できない。構造計算は理解できるけれど…。 ・仕事に関連付けるのは、今の私の理解力では難しい。																												
3 LED産業等のさらなる集積の支援																													
LED産業競争力強化事業 LED産業のさらなる競争力強化と集積化を促進するため、市場競争が激化するLED関連市場で鳥取県内産LED製品の認知度及び信頼性の向上（ブランド化）を図るとともに、企業の商品開発における課題解決を支援する体制を確保する。 ※政策目標 新規支援件数10件	【実績】 ○ LED支援専門チームによる企業の商品企画・設計を支援し、LED新製品の開発、新分野進出、販路開拓を支援 ○ 鳥取県産LED商品の安全性、高品質性を打ち出し、他の製品との差別化、ブランド力強化を図る。 ○実施状況 <table><tr><th colspan="2">支援内容</th><th>内訳</th></tr><tr><td rowspan="2">開発支援</td><td>支援件数13件（うち開発支援終了8件）</td><td>(株)フジ電機、鳥取電子(株)：各3件 光電気LEDシステム(株)：2件 あおやサイエンス(株)、(株)DSコーポレーション、(株)三友、ジーニア&アーレイ鳥取(株)、ROOTS JAPAN(株)：各1件</td></tr><tr><td>企業支援</td><td>企業打合せ 158回、資料提供 321回</td></tr><tr><td rowspan="2">ブランド化支援</td><td>直管LEDランプ製品</td><td>直管LEDランプ製品標準仕様書制定・運用(9/27)</td></tr><tr><td>鳥取県LED安全性認証制度の創設</td><td> ・実施要領の策定(12/20) ・認証製品マーク 鳥取県デザイナー協会へ業務委託(11/28) マーク決定(12/27) 鳥取県へデザイン画・電子データ引渡し(H26/1/10)</td></tr><tr><td>マッチング</td><td>専門展示会での照明デザイナー等とのマッチング</td><td>○ライティングジャパン2014実績(1/15～1/17) ・出展企業 4社 ・商談件数109件、試作・見積依頼4件、訪問等のアポ 31件。 ○デザイナー2名、設計会社2名が来場、出展企業2社とマッチング実施(H26/1/17)</td></tr></table> 【成果】 ○支援件数（全15件） <table><tr><th>区分</th><th>24年度</th><th>25年度</th><th>備考</th></tr><tr><td>支援件数</td><td>9</td><td>13</td><td>(25)は(24)からの継続7件含む</td></tr><tr><td>支援終了件数</td><td>2</td><td>8</td><td></td></tr></table> ○受注等実績	支援内容		内訳	開発支援	支援件数13件（うち開発支援終了8件）	(株)フジ電機、鳥取電子(株)：各3件 光電気LEDシステム(株)：2件 あおやサイエンス(株)、(株)DSコーポレーション、(株)三友、ジーニア&アーレイ鳥取(株)、ROOTS JAPAN(株)：各1件	企業支援	企業打合せ 158回、資料提供 321回	ブランド化支援	直管LEDランプ製品	直管LEDランプ製品標準仕様書制定・運用(9/27)	鳥取県LED安全性認証制度の創設	・実施要領の策定(12/20) ・認証製品マーク 鳥取県デザイナー協会へ業務委託(11/28) マーク決定(12/27) 鳥取県へデザイン画・電子データ引渡し(H26/1/10)	マッチング	専門展示会での照明デザイナー等とのマッチング	○ライティングジャパン2014実績(1/15～1/17) ・出展企業 4社 ・商談件数109件、試作・見積依頼4件、訪問等のアポ 31件。 ○デザイナー2名、設計会社2名が来場、出展企業2社とマッチング実施(H26/1/17)	区分	24年度	25年度	備考	支援件数	9	13	(25)は(24)からの継続7件含む	支援終了件数	2	8	
支援内容		内訳																											
開発支援	支援件数13件（うち開発支援終了8件）	(株)フジ電機、鳥取電子(株)：各3件 光電気LEDシステム(株)：2件 あおやサイエンス(株)、(株)DSコーポレーション、(株)三友、ジーニア&アーレイ鳥取(株)、ROOTS JAPAN(株)：各1件																											
	企業支援	企業打合せ 158回、資料提供 321回																											
ブランド化支援	直管LEDランプ製品	直管LEDランプ製品標準仕様書制定・運用(9/27)																											
	鳥取県LED安全性認証制度の創設	・実施要領の策定(12/20) ・認証製品マーク 鳥取県デザイナー協会へ業務委託(11/28) マーク決定(12/27) 鳥取県へデザイン画・電子データ引渡し(H26/1/10)																											
マッチング	専門展示会での照明デザイナー等とのマッチング	○ライティングジャパン2014実績(1/15～1/17) ・出展企業 4社 ・商談件数109件、試作・見積依頼4件、訪問等のアポ 31件。 ○デザイナー2名、設計会社2名が来場、出展企業2社とマッチング実施(H26/1/17)																											
区分	24年度	25年度	備考																										
支援件数	9	13	(25)は(24)からの継続7件含む																										
支援終了件数	2	8																											

事業名・内容	事業の実績等			
	項目	件数	受注額(千円)	備 考
	量産品継続受注開始	6	36,570	(㊹完了1件、㊺完了5件)
	受注(継続の見込有)	1	100	㊺完了分
	サンプル公開・商談中	1		(支援中)
	設計検討・開発中	4		(支援中)
	試作実施・開発中止	3		
	開発断念	0		
	合計	15	36,670	

4 新たな成長産業の振興・発展の支援

(1)成長産業振興・発展対策支援事業
企業立地の促進や新たな雇用創出、付加価値額の増加を図るため、中国地方の各県が連携して行う成長分野における広域的なネットワーク活動(産学官におけるネットワーク形成、専門家派遣、販路開拓支援、セミナー開催等)への県内企業の参加を支援する。
連携する分野(3分野):LED関連分野、機能性食品分野、医療福祉分野)

【実績】

ア LED 関連分野事業
成長分野、川下ニーズ等の市場に向けた4県地域企業のLED商品開発を支援し、各県の指定集積業種の更なる集積化の加速に繋げる。

【実績】

内訳は別添資料のとおり。

項目	事業項目	内容
企画検討会議	実施事業、進捗状況等の協議	4回開催
セミナー・研修開催事業	各県開催	各県1回
	先進地域開催	東京及び広島各1回
マッチング事業	専門家派遣	鳥取3回、広島2回、島根・山口各1回
	専門展示会を活用したマッチング(H26.3)	・「出展企業ガイド製作」(12/18) ・マッチング企業訪問の開始 ・マッチング実施10社(H26/3/4～3/7)
	ホームページ運営	・「中国地域LED等次世代デバイス成長産業振興・発展対策活動事業」紹介のホームページを作成、当財団のホームページ内にバナーを設置
販路開拓事業	LED専門展示会LEDNextStage2014出展(H26.3)	・期間中の相談(名刺交換・商談説明等)1,075件(鳥取県91)、後日訪問等73件(4)、見積り依頼37件(3)、商談成立1件(0)

イ 機能性食品関連分野事業

【実績】

項目	事業項目	内容
商談展示会事業	中国地方発機能性食品・商談展示(H25.1.24広島)	出展企業:甲陽ケミカル、大山メディカルハーブ、ビーエムステーション、楽人、ファイナル
シーズニーズマッチング事業	宇宙日本食参入セミナーの開催	(7/12)開催地:広島市 地元企業17社参加 (7/22)開催地:松江市 地元企業12社参加 JAXAが認証している宇宙日本食を中国地方から誕生させるため、セミナーを開催した。
専門展示会出展事業	食品開発展(H25.10)	出展企業:大山メディカルハーブ、タングルウッド
専門家派遣事業		(年度中随時受付)
セミナー事業		フードテクノひろしま(H25.10.25、H26.2.13広島)

ウ 医療関連機器分野事業
中国5県の支援機関が連携・共同し、今後成長が見込まれる医療関連機器分野を指定業種とし、さらなる産業集積形成を図る。本県において「とっとり医療機器関連産業戦略研究会」設立。(11/18)

事業名・内容		事業の実績等													
		【実績】													
		項目	事業項目	内容											
		展示会等出展	国際福祉機器展共同出展事業	9/18～20 に開催された「国際福祉機器展(H. C. R. 2013)」に出展。中国 5 県で 15 社(鳥取県：2 社)出展											
			メディックス関西共同出展事業	10/2～4 に開催された「関西医療機器開発・製造展(MEDIX 関西)」に出展。中国 5 県で 10 社(鳥取県：2 社)出展											
		セミナー開催事業	「医療・福祉関連産業ものづくりセミナー」	ア 日時 平成 26 年 2 月 10 日(月) イ 会場 セントコア山口(山口県山口市) ウ 講師 (ア)「期待される医療機器産業と機械製造の拡大戦略」 山形大学人文学部法経政策学科 山本匡毅 氏 (イ)「医療機器分野の実情とものづくり中小企業新規参入事例と課題」株式会社スズキプレシオン 代表取締役会長 鈴木 庸介 氏 エ 参加者：50 名											
「医療・福祉関連産業新規参入セミナー」	ア 日時 平成 26 年 2 月 26 日(水) イ 会場 テクノアークしまね(島根県松江市) ウ 講師 (ア)「後発を逆手に取った医療(周辺機器)・福祉機器の製品開発とその産業化への挑戦」 鶴岡商工会議所 産業化プロデューサー 丹下 道幸 氏 (イ)「産学官連携から製品化へ向けて」 ファミリーイナダ株式会社 法務特許室長 池田 伸也 氏 エ 参加者：31名														
(2) 医工連携推進事業 医療機器業界等のニーズにあった商品開発、薬事法との適合等を支援するため、専門的知識を持ったコーディネーターを配置する。		【実績】 ○医工連携コーディネーターを配置し（11／1）、県内企業の技術シーズ、鳥取大学医学部附属病院をはじめとした医療現場のニーズ調査を実施 ○主な実施項目 内訳は別添資料のとおり。 <table><tr><td>項目</td><td>内容等</td></tr><tr><td>「とっとり医療機器関連産業戦略研究会」設立 (平成25年11月18日)</td><td>会員企業数：51社・団体(76名) ※3月末時点</td></tr><tr><td>先進地調査等</td><td>医工連携における先進地域・団体・企業を視察・調査し、県内企業への支援活動の参考とした。</td></tr><tr><td>研究会グループワークの開催（平成26年2月18日）</td><td>「医療機器関連産業新規参入セミナー」に併せて、会員企業を対象としたグループワークを開催（13社参加）</td></tr><tr><td>個別企業相談会 (平成26年3月19～20日)</td><td>医療機器製造業及びISO13485取得を希望する企業：6社に対する個別企業相談会を開催。</td></tr><tr><td>韓国原州市医療機器メーカーとのマッチング会 (平成26年3月6日)</td><td>参加者数：18社・団体</td></tr></table> ○その他事業推進 ・医工連携情報連絡会：7回開催 【成果】 ・九州大学大平教授との共同研究開発に3社着手、うち2社については、平成26年度内の医療機器製造業・製造販売業取得に向け進行中 ・2014年度JETRO地域間交流支援(RIT) 事前調査事業採択		項目	内容等	「とっとり医療機器関連産業戦略研究会」設立 (平成25年11月18日)	会員企業数：51社・団体(76名) ※3月末時点	先進地調査等	医工連携における先進地域・団体・企業を視察・調査し、県内企業への支援活動の参考とした。	研究会グループワークの開催（平成26年2月18日）	「医療機器関連産業新規参入セミナー」に併せて、会員企業を対象としたグループワークを開催（13社参加）	個別企業相談会 (平成26年3月19～20日)	医療機器製造業及びISO13485取得を希望する企業：6社に対する個別企業相談会を開催。	韓国原州市医療機器メーカーとのマッチング会 (平成26年3月6日)	参加者数：18社・団体
項目	内容等														
「とっとり医療機器関連産業戦略研究会」設立 (平成25年11月18日)	会員企業数：51社・団体(76名) ※3月末時点														
先進地調査等	医工連携における先進地域・団体・企業を視察・調査し、県内企業への支援活動の参考とした。														
研究会グループワークの開催（平成26年2月18日）	「医療機器関連産業新規参入セミナー」に併せて、会員企業を対象としたグループワークを開催（13社参加）														
個別企業相談会 (平成26年3月19～20日)	医療機器製造業及びISO13485取得を希望する企業：6社に対する個別企業相談会を開催。														
韓国原州市医療機器メーカーとのマッチング会 (平成26年3月6日)	参加者数：18社・団体														
【事業評価】 B 成長産業分野の産業集積を支援する															
自己評価	評価理由														
A	① リサイクル産業クラスター形成では、コーディネーターが企業訪問、研究会の開催等を通じ新規参入企業12社(目														

事業名・内容		事業の実績等																					
		標10社)を育成するとともに、販路開拓においても16件(目標10社)の支援件数を達成した。 ② L E D産業競争力強化事業では、継続案件を含んで13件の支援を行っており、うち8件の支援が終了した(そのうち6件で量産化受注等に発展)。成長産業振興・発展対策支援事業では、中国地域支援機関の連携により商談会への出展等積極的に事業を推進した。 ③ 一方、次世代環境ビジネスを支える技術等向上事業では目標70人に対し、48人の受講者に止まったが、受講者から、26年度以降の県内受注組織の核となる会社が現れるなどの成果があった。 これらの目標に対する実績等から判断してA評価と判断した。																					
○特記事項																							
① 医工連携推進事業で「とっとり医療機器関連産業戦略研究会」を立ちあげ、51社(団体)、76名の参加を得るとともに、3件の共同研究、医療機器製造業等の許可取得を進めるなど著しい進展を見ている。また、25年度末にはJ E T R OのR I T事業に採択されるなど今度の進展が大いに期待できる。 ② 自動車部品関連産業の支援に当たっては、既存のベンチャー企業に止まらず、県内企業の自動車関連産業への参入や受注量の拡大等のニーズに合わせて、県外への販路開拓等を行い、マッチング事例4件を達成した。																							
C 県内の経営資源を利用した新商品等の開発や事業化を支援する																							
1 研究開発への助成																							
(1)研究開発事業 中小企業等が抱える課題の解決に向け、グループで共同開発するために必要な新技術、新製品開発に要する基礎的調査、研究費用を助成する。 ※政策目標 採択件数5件		【実績】 ○採択状況等 <table><tr><td></td><td>実施日</td><td>採択件数</td><td>交付決定額</td><td>備考</td></tr><tr><td>第1回</td><td>8/6</td><td>3件</td><td>1,800千円</td><td></td></tr><tr><td>第2回</td><td>-</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>第3回</td><td>2/25</td><td>2件</td><td>1,200千円</td><td></td></tr></table> ※実績評価 年間目標達成率 100% 【課題】 ・前年度までは補助事業終了後の事業状況の把握ができていなかったため、今年度から補助事業終了後も3年間定期的な報告を義務付けることとした。			実施日	採択件数	交付決定額	備考	第1回	8/6	3件	1,800千円		第2回	-				第3回	2/25	2件	1,200千円	
	実施日	採択件数	交付決定額	備考																			
第1回	8/6	3件	1,800千円																				
第2回	-																						
第3回	2/25	2件	1,200千円																				
(2)次世代・地域資源産業育成事業 次世代・地域資源産業育成事業基金の運用益を活用して、県内地域の特産物として認識されている地域資源(農林水産物等、産地技術、観光資源)や次世代産業の研究シーズ等を活用した製品・技術の研究開発、実用化や販路開拓等を行う事業に対し助成する。 ※政策目標 採択件数30件		【実績】 ○採択状況等 <table><tr><td>事業区分</td><td>採択件数</td><td>交付決定額(千円)</td></tr><tr><td>次世代産業育成事業</td><td>7</td><td>113,515</td></tr><tr><td>地域資源活用事業</td><td>8</td><td>30,896</td></tr><tr><td>「打って出る」とっとり応援事業</td><td>1</td><td>3,000</td></tr><tr><td>合計</td><td>16</td><td>147,411</td></tr></table> ・需要の高い事業であるため県・中小機構と協議し、事業終了年度までの運用益を見越し、当 該年度の運用益以上の金額を交付決定。 ○申請・採択状況等 ・公募及び審査会開催：2回(H25.6.27、H26.1.31) ・採択者説明会開催、採択事業者の事業実施状況調査、事業終了後の事業化状況調査、事業支援等 ○助成金相談対応 ・助成金活用を希望する企業への相談対応、指導。 ～平成25年度は約50件の相談、うち11件が申請。 ・本事業にマッチしない案件は国、県、市等の助成事業の活用を支援。 ・熟度が足りない案件は事業計画立案等に対する助言を行う。 ※実績評価(採択件数) 採択件数 16件、達成率53% 【課題等】 ・事業化状況の把握 →企業訪問(進捗状況や課題の把握)、他部署・他団体との連携(課題解決に向けた連携) ・申請案件における事業計画の熟度向上 →申請前ヒアリングの徹底、経費内訳の精査、助言 ・案件のステップアップ →法認定事業、競争的資金等への応募に向けた支援、機構内連携の強化		事業区分	採択件数	交付決定額(千円)	次世代産業育成事業	7	113,515	地域資源活用事業	8	30,896	「打って出る」とっとり応援事業	1	3,000	合計	16	147,411					
事業区分	採択件数	交付決定額(千円)																					
次世代産業育成事業	7	113,515																					
地域資源活用事業	8	30,896																					
「打って出る」とっとり応援事業	1	3,000																					
合計	16	147,411																					

事業名・内容	事業の実績等																														
	【成果】〈累積支援件数〉 <table><tr><th>項目</th><th>件数</th><th>備考</th></tr><tr><td>申請件数</td><td>167</td><td></td></tr><tr><td>採択件数</td><td>102</td><td></td></tr><tr><td>事業化件数</td><td>66</td><td></td></tr><tr><td> 売上げ年10百万円超</td><td>32</td><td></td></tr><tr><td>今後事業化件数</td><td>11</td><td></td></tr></table>	項目	件数	備考	申請件数	167		採択件数	102		事業化件数	66		売上げ年10百万円超	32		今後事業化件数	11													
項目	件数	備考																													
申請件数	167																														
採択件数	102																														
事業化件数	66																														
売上げ年10百万円超	32																														
今後事業化件数	11																														
2 農林漁業者と県内企業との連携等の促進																															
(1)農商工連携促進ファンド事業 鳥取県農商工連携促進ファンドの運用益を活用して、農林漁業者と中小企業者等との連携による新商品・新サービス等の開発、販路開拓、又はそれらを支援する事業に対し助成する。 また、当機構として農商工連携事業の中の「公募によらない事業」を活用し、商談会（展示型・個別型）・農商工連携商品企画力向上セミナーを実施する。 ※政策目標 採択件数10件	【実績】 ○採択状況等 <table><tr><th>事業区分</th><th>採択件数</th><th>交付決定額（千円）</th></tr><tr><td>農商工連携事業</td><td>10</td><td>39,929</td></tr><tr><td>農商工連携支援事業</td><td>1</td><td>1,720</td></tr><tr><td>計</td><td>11</td><td>41,649</td></tr></table> ※交付決定予定額(12,244千円)含む ○申請・採択状況等 ・第1回審査会 6/12 申請件数：7件 採択件数5件 ・第2回審査会 10/7 申請件数：3件 採択件数3件 ・第3回審査会 2/5 申請件数：3件 採択件数3件 （25年度は申請件数13件、採択件数11件（平成24年度申請案件11件、採択件数7件）引き続き案件発掘に注力していく。 ○その他 ・事例集の作成 農商工連携ファンド事業活用事業者のうち、事業化した者を対象に31事例を掲載した事例集を作成。事業のPRのほか、販路開拓等で活用する。 ・農商工連携商品のブラッシュアップ 農商工連携促進ファンド活用事業者及び活用見込みのある事業者に対し、商品の販路開拓を進めるため、商品ブラッシュアップ事業を実施。 ～対象企業4社に対し、全4回の相談会を行った。今後、ブラッシュアップ商品及び新たに向かう販路先などの状況についてフォローを行う。 ※実績評価（採択件数） 採択件数 110％ 【課題】 ・事業化した案件については商談会等に積極的に参加を呼び掛け、販路開拓、売上増を支援する。 【成果】〈累積支援件数〉 <table><tr><th>項目</th><th>件数</th><th>備考</th></tr><tr><td>申請件数</td><td>91</td><td></td></tr><tr><td>採択件数</td><td>68</td><td></td></tr><tr><td>事業化件数</td><td>39</td><td></td></tr><tr><td> 売上げ年10百万円超</td><td>3</td><td></td></tr><tr><td>今後事業化件数</td><td>12</td><td></td></tr></table>	事業区分	採択件数	交付決定額（千円）	農商工連携事業	10	39,929	農商工連携支援事業	1	1,720	計	11	41,649	項目	件数	備考	申請件数	91		採択件数	68		事業化件数	39		売上げ年10百万円超	3		今後事業化件数	12	
事業区分	採択件数	交付決定額（千円）																													
農商工連携事業	10	39,929																													
農商工連携支援事業	1	1,720																													
計	11	41,649																													
項目	件数	備考																													
申請件数	91																														
採択件数	68																														
事業化件数	39																														
売上げ年10百万円超	3																														
今後事業化件数	12																														
(2)農商工連携研究開発支援業 農林漁業者と中小企業者等のグループが行う研究開発に必要な基礎的調査・情報収集・開発検討に要する経費を助成する。 ※政策目標 採択件数5件	【実績】 ○採択案件 1件 第1回審査会 4/16 実施 ・申請件数：1件・採択件数：1件 ・申請金額：600千円・採択金額：600千円 ○申請相談件数 7件 ※実績評価（採択件数） 20％（△4件）																														

事業名・内容	事業の実績等																																																		
	【課題】 ・ファンド事業につなげることができる案件の掘り起し ・進行中の案件について進捗状況を現地確認し、助成事業等の相談																																																		
(3) 地域資源活用・農商工連携促進事業 県内企業等の入口・出口戦略（売れる新商品企画、事業者間のマッチング、販路開拓等）を支援するため、農商工連携コーディネーター2名を配置し、県内企業等による農商工連携の取組みを促進する。 また、農商工連携に取り組もうとする事業者に対して、実践的な支援を行うため、「農商工連携セミナー・マッチング相談会」を行う。 ※政策目標等 マッチング成立件数12件 商談会による商談成立件数 12 件	【実績】 ○マッチング担当 ・支援状況 <table><tr><th>区分</th><th>件数</th></tr><tr><td>訪問・面談件数</td><td>360件</td></tr><tr><td>マッチング成立件数（※）</td><td>19件</td></tr><tr><td>審査会申請案件</td><td>4件</td></tr></table> （※H24度から継続して支援している案件を含む） ・マッチング交流会の開催 （東部農商工こらぼネットを中心に異業種マッチング交流会を開催） 日 時：平成25年11月18日 場 所：鳥取県東部庁舎5階 講堂 参加者：107名（企業等56社） ○販路開拓担当 ・支援状況 西部支部の食品担当マネージャーと連携し、農商工連携事業者に対し商談会参加への積極的な働きかけ ・個別商談会（参加企業数は農商工連携事業の助成事業者のみ） <table><tr><th>期日</th><th>名称・場所</th><th>参加企業数</th></tr><tr><td>5.17</td><td>食のみやこ鳥取県</td><td>9社</td></tr><tr><td>6.21</td><td>（株）中国CGC水産商談会</td><td>1社</td></tr><tr><td>6.26</td><td>とりぎん商談会</td><td>4社</td></tr><tr><td>7.17</td><td>琴浦商談会</td><td>3社</td></tr><tr><td>9.13 -14</td><td>第2回（株）中合三春屋食品商談会</td><td>4社</td></tr><tr><td>10.24</td><td>第1回農商工連携食品商談会</td><td>10社</td></tr><tr><td>11.1</td><td>第1回通販食品商談会</td><td>4社</td></tr><tr><td>3.13</td><td>西部 de こらぼ商談会</td><td>20社</td></tr><tr><td></td><td>計</td><td>55社</td></tr></table> ・展示商談会（参加企業数は農商工連携事業の助成事業者のみ） <table><tr><th>日程</th><th>名称・場所</th><th>参加企業数</th></tr><tr><td>9.6 -7</td><td>とっとり産業フェスティバル</td><td>7社</td></tr><tr><td>11.9 -10</td><td>食のみやこ鳥取県フェスタ</td><td>2社</td></tr><tr><td></td><td>計</td><td>9社</td></tr></table> ・農商工連携セミナーの開催 ※実績評価（マッチング件数等） マッチング成立件数 158%（+7件） 商談成立件数 58%（△5件） 【成果】 ○マッチング担当 ・マッチング支援を行った事業者のうち、25年度審査会申請案件4件（うち採択4件） ○販路開拓担当 ・商談会参加企業のうち、7件が商談成立、5件が折衝中（26件について追調査が必要） ・年度内に県内での販路拡大支援を計画	区分	件数	訪問・面談件数	360件	マッチング成立件数（※）	19件	審査会申請案件	4件	期日	名称・場所	参加企業数	5.17	食のみやこ鳥取県	9社	6.21	（株）中国CGC水産商談会	1社	6.26	とりぎん商談会	4社	7.17	琴浦商談会	3社	9.13 -14	第2回（株）中合三春屋食品商談会	4社	10.24	第1回農商工連携食品商談会	10社	11.1	第1回通販食品商談会	4社	3.13	西部 de こらぼ商談会	20社		計	55社	日程	名称・場所	参加企業数	9.6 -7	とっとり産業フェスティバル	7社	11.9 -10	食のみやこ鳥取県フェスタ	2社		計	9社
区分	件数																																																		
訪問・面談件数	360件																																																		
マッチング成立件数（※）	19件																																																		
審査会申請案件	4件																																																		
期日	名称・場所	参加企業数																																																	
5.17	食のみやこ鳥取県	9社																																																	
6.21	（株）中国CGC水産商談会	1社																																																	
6.26	とりぎん商談会	4社																																																	
7.17	琴浦商談会	3社																																																	
9.13 -14	第2回（株）中合三春屋食品商談会	4社																																																	
10.24	第1回農商工連携食品商談会	10社																																																	
11.1	第1回通販食品商談会	4社																																																	
3.13	西部 de こらぼ商談会	20社																																																	
	計	55社																																																	
日程	名称・場所	参加企業数																																																	
9.6 -7	とっとり産業フェスティバル	7社																																																	
11.9 -10	食のみやこ鳥取県フェスタ	2社																																																	
	計	9社																																																	
(4) 6次産業総合推進事業 サポートセンターを設置し、プランナーによる経営の発展段階に即した個別相談や課題解決に向けた実践研修会などを実施する。 ※政策目標 事業化計画認定件数 10 件	【実績】 ○企画推進等の活動状況 ・普及啓発・相談件数 ①プランナー等の派遣を通じた個別相談件数 75件 ②相談対応を通じた簡易な助言等 69件 ・総合化事業計画認定者に対するフォローアップ件数 62件 ・シンポジウムの開催回数及び参加人数 3回、139人 ・交流会の開催回数及び参加人数 6回、195人 ・個別相談会の開催回数及び参加人数 2回、3人																																																		

事業名・内容		事業の実績等					
		○事業化計画認定件数 0件（1件申請あり。申請案件は（5）6次産業化総合支援事業へ持越し） 〈支援結果等〉 普及啓発・相談件数、総合化事業計画認定者に対するフォローアップ件数、シンポジウムの開催回数及び参加人数、交流会の開催回数及び参加人数の実績が目標値を大幅に上回った。 【課題】 ・国の施策が個別の6次認定型から地域ネットワーク型支援へ方針転換した。					
(5) 6次産業化総合支援事業(県補助事業) 農林漁業者の6次産業化の取組を支援するため、鳥取6次産業サポートセンターを設置し、個別相談等を実施		【実績】 ○企画推進員等の活動状況 ・普及啓発・相談件数 ①プランナー等の派遣を通じた個別相談件数 58件 ②相談対応を通じた簡易な助言等 109件 ・総合化事業計画認定者に対するフォローアップ件数 62件 ・シンポジウムの開催回数及び参加人数 9回、440人 ・交流会の開催回数及び参加人数 8回、340人 ・個別相談会の開催回数及び参加人数 6回、32人 【課題】 ・鳥取県の6次産業化プラットフォームの構築(消費者、流通を含む総合支援体制)、支援機関の専門家養成や6次産業化に向かう農林漁業者のリーダー育成が必要 【成果】 ・事業化計画認定件数 1件 (4) 6次産業総合推進事業から繰り越した申請案件の認定) ・鳥取県全体の6次総合化事業計画の累計認定件数は19件 ・第1回6次産業化シンポジウムにおいて鳥取県八頭町の(有)ひよこカンパニーが平成25年度6次産業化優良事例表彰で農林水産省食料産業局長賞を受賞。 ・弓ヶ浜水産(株)が平成25年度6次産業化ネットワーク活動整備交付金約5億円の補助金の割当内報が決定。(26年度本申請済)。その他継続案件として2件申請予定					
【事業評価】C 県内の経営資源を利用した新商品等の開発や事業化を支援する							
自己評価	評価理由						
B	① 農商工連携ファンド事業で採択件数11件で目標対比110%を達成する一方、農商工連携研究開発支援事業の採択件数が1件に止まるなどの実績となっている。また、次世代地域資源産業育成事業では、大口の案件が多くなったことから、年度途中で予算額を消化し、新たに30百万円の枠の拡大を行ったが、目標30件に対し16件の実績となった。 ② 研究開発事業及び6次産業化総合事業は採択件数5件及び10件で目標どおりの実績となるとともに、地域資源・農商工連携促進事業ではマッチング件数は19件で目標対比158%、販路開拓件数は目標どおりとなった。これらの実績からB評価とした。						
○特記事項							
① 次世代・地域資源産業育成事業では事業化案件66件、10百万円以上の売上げとなっているものが32件であり、農商工連携促進事業では事業化件数39件、10百万円以上の売上げとなっているものが3件等確実な成果を上げつつある。 ② 地域資源活用・農商工連携促進事業ではファンド事業での採択が4事業で進むなど確実な成果を上げている。							
D 特許等を活用して新たな技術の導入を支援する							
1 特許技術の活用及び流通の支援							
(1) 知的財産活用ビジネス支援事業 県内企業の知財活用による事業化を促進するため、知財ビジネスプロデューサー(知的所有権センター長)を配置し、各コーディネーターの事業化案件をフォローするとともに、知財を活用したアイデアから事業化までを一貫して支援する。 ※政策目標 事業化件数5件		【実績】 ○知財活用事業化案件等の状況(知財を活用した企画から販売までの一貫支援) <table><tr><th>支援企業 件数</th><th>会社名</th></tr><tr><td>7社</td><td>(株)フジタ、(株)シャルビー、(株)ミトクハーネス、(株)LASSIC、(株)大陸、智頭木材ハウス産業、小坂板金工作所</td></tr></table> ※実績評価(事業化件数) 140%(+2件) 【成果】 ○具体的な販路開拓につながった件数2件		支援企業 件数	会社名	7社	(株)フジタ、(株)シャルビー、(株)ミトクハーネス、(株)LASSIC、(株)大陸、智頭木材ハウス産業、小坂板金工作所
支援企業 件数	会社名						
7社	(株)フジタ、(株)シャルビー、(株)ミトクハーネス、(株)LASSIC、(株)大陸、智頭木材ハウス産業、小坂板金工作所						

事業名・内容	事業の実績等																								
(2)特許流通支援事業 県内企業の特許導入による研究開発投資・リスクの低減、新商品開発の促進、また、自社特許を他企業へライセンスすることによる収益の向上等を促進するため、特許流通コーディネーター2名を県東部・西部に各1名ずつ配置する。 ※政策目標 特許成約件数15件 訪問件数300件(うち新規90件)	【実績】 ○特許流通コーディネーターの支援状況(新商品化、新事業化に繋がる知財マッチングを支援) <table><tr><th>支援項目</th><th>件数等</th><th>備考</th></tr><tr><td>企業訪問件数</td><td>404件</td><td>うち新規59件</td></tr><tr><td>成約件数</td><td>25件</td><td></td></tr></table> ○特許技術の流通支援 ・県内企業アンケート実施。(送付県内企業1542社、回答率18.5%) ・平成26年度県版特許集の作成、関係部署発送 ※実績評価(成約件数等) 特許成約件数 167%(+10件) 訪問件数等 135%(新規65%) 【成果】成約件数25件の内訳； <table><tr><th>区分</th><th>件数</th><th>備考</th></tr><tr><td>特許実施許諾</td><td>9件</td><td>6件は事業売上に貢献中</td></tr><tr><td>共同開発・共同出願</td><td>2件</td><td></td></tr><tr><td>オプション契約</td><td>1件</td><td></td></tr><tr><td>秘密保持契約・覚書</td><td>13件</td><td></td></tr></table>	支援項目	件数等	備考	企業訪問件数	404件	うち新規59件	成約件数	25件		区分	件数	備考	特許実施許諾	9件	6件は事業売上に貢献中	共同開発・共同出願	2件		オプション契約	1件		秘密保持契約・覚書	13件	
支援項目	件数等	備考																							
企業訪問件数	404件	うち新規59件																							
成約件数	25件																								
区分	件数	備考																							
特許実施許諾	9件	6件は事業売上に貢献中																							
共同開発・共同出願	2件																								
オプション契約	1件																								
秘密保持契約・覚書	13件																								
(3)特許等取得活用支援事業 中小企業の知財活用支援の中核機関として知財の課題等を一元的に受け入れる「知財総合支援窓口」を設置し、弁理士等の知財専門家の活用や商工会議所・商工会連合会等の支援機関との連携を図りながらワンストップサービスを提供する。 なお、当該事業では一般社団法人鳥取県発明協会とコンソーシアムを組み、窓口支援担当者(知財コーディネーター)を2名配置し、知財を有効に活用できていない中小企業の発掘・活用促進を図る活動も併せて実施する。 ※政策目標 窓口支援620件、企業訪問80件	【実績】 ○知財コーディネーターの支援状況 <table><tr><th>支援項目</th><th>件数等</th><th>相談支援内容</th></tr><tr><td>窓口支援</td><td>553件</td><td rowspan="3">出願手続き支援、類似案件調査、知財契約関連、等</td></tr><tr><td>企業訪問</td><td>77件</td></tr><tr><td>発掘活動</td><td>26件</td></tr></table> ・重要支援案件：(株)大陸、(有)小坂板金工作所、(有)片山電機の3社 ○知財専門家の支援状況 <table><tr><th>支援項目</th><th>件数等</th><th>相談支援内容</th></tr><tr><td>窓口支援</td><td>77件</td><td></td></tr><tr><td>企業訪問</td><td>27件</td><td>種苗法等</td></tr></table> 【改善点】 ○知財コーディネーター 期前半終了時点で支援件数が対前年で減少していたことから、窓口で相談者が来訪するのを待っているだけではなく、知財意識調査アンケートで知財に興味ある会社等をピックアップして積極的に企業訪問し、知財を有効に活用できていない企業を発掘した。これにより発掘活動は目標超過達成となった。 ○知財専門家 弁理士以外の専門家(弁護士、特許流通CD等)を積極的に活用し(51件)、多岐にわたる見地から支援した。特に、弁護士の活用は4件であり、種苗法侵害対策に重点をおいて支援した。 ※実績評価(支援件数等) 窓口支援 89%、企業訪問 96% 【成果】 ○重点支援案件では、特許出願、商品化が完了し、専門展示会に出展、複数社と商談が進行中 ○知財専門家案件では、種苗法侵害対策として、DNA鑑定の結果を踏まえ、相手方の異議申立てについて監督官庁から3月末に却下の結論等の進捗	支援項目	件数等	相談支援内容	窓口支援	553件	出願手続き支援、類似案件調査、知財契約関連、等	企業訪問	77件	発掘活動	26件	支援項目	件数等	相談支援内容	窓口支援	77件		企業訪問	27件	種苗法等					
支援項目	件数等	相談支援内容																							
窓口支援	553件	出願手続き支援、類似案件調査、知財契約関連、等																							
企業訪問	77件																								
発掘活動	26件																								
支援項目	件数等	相談支援内容																							
窓口支援	77件																								
企業訪問	27件	種苗法等																							
(4)特許流通フェア事業 県内企業が保有する特許技術の流通を促進するため、実施許諾先となり得る企業が多い大都市圏において開催される展示会に、県内企業が特許技術・商品をPR	【実績】 ○エコパ2013(12/12～14 東京ビッグサイト)に出展 ・出展：大村塗料、藤森産業機械、鳥取再資源化研究所、ブリリアントアソシエイツの4社 ・出展結果：有効商談件数52件、技術移転有望1件(フォローアップ継続中)																								

事業名・内容		事業の実績等															
するためのブースを設置する。		【成果】 (株)鳥取再資源化研究所：ターゲット顧客のみに案内を送付し、商談の場として活用															
(5) 中小企業外国出願支援事業 国の補助事業として、県内企業が海外展開を見据えて積極的に 行う外国出願を支援し国際競争力の強化を図るために、国内に比べかなり高額な海外特許・意匠・商標登録に係る出願手数料・代理人費用等に対して助成を行う。 また、県補助事業として、国補助事業の対象外となっている国際特許出願や国際商標出願で日本特許庁に支払う出願費用に対しても助成を行う。 ※政策目標 特許出願件数 12 件		【実績】 ○今年度採択件数 ゼロ件 ○申請状況 ・申請 2 件あったが、2 件とも審査委員会直前に取り下げ ・他の相談案件：「課題解決型医療機器開発事業」を活用 ・25年度希望 2 件打診したが、26年度に延期 〈累積支援件数〉 ・平成 22 年度開始以降、延べ 8 社 17 出願を支援															
2 宇宙航空科学技術の活用及び普及の支援																	
(1) 新先端技術マッチング支援事業 宇宙技術など国内の最先端技術・特許を活用し、県内に新たな産業を創出する新分野への参入を支援するため、日本宇宙フォーラム等と連携し宇宙航空研究開発機構（JAXA）が持つ技術・ライセンスを活用した成功事例等を紹介するセミナーや個別相談会を開催する。 ※政策目標 セミナー・相談会の開催2回		【実績】 ○相談会 10/9～11にかけてJAXAを中心に米子で開催された「第57回宇宙科学技術連合講演会」について協力 ～毎年1回全国各地で開催されている当講演会において、過去2番目の参加者を集めたこと。 ○セミナー <table><tr><th>実施日</th><th>名称</th><th>内容</th><th>参加者</th></tr><tr><td>2/5</td><td>産業技術センターとの意見交換会</td><td>① JAXAの概要と知的財産の概要 ② 鳥取県産業技術センターの取組紹介</td><td>14名</td></tr><tr><td>3/25</td><td>JAXAへ企業同行訪問</td><td>① JAXAとの連携による商品開発の可能性調査</td><td>4名</td></tr></table> ～当初検討していたオープンラボ相談会はJAXAの都合により実施できなかったが、鳥取県で今年度開催されたJAXA事業に協力することで同様の対応を行うことができた。 ※実績評価（セミナー等開催件数） 年間目標達成率 100% 【課題、今後の事業推進】 ・セミナーについては、産業技術センターを中心に県内の「研究者」向けセミナーを実施 ～ 研究員同士、一般企業向けよりスムーズに情報共有できることにより、今後の発展も期待できることから、今後は同様の企画をしていく方針。 ・JAXAとの連携による商品開発において、商品開発協力は可能であることが確認できたが、名義許諾は困難なことを確認 ～当財団所有の知財の汎用性を引き続き県内企業に紹介していく方針。				実施日	名称	内容	参加者	2/5	産業技術センターとの意見交換会	① JAXAの概要と知的財産の概要 ② 鳥取県産業技術センターの取組紹介	14名	3/25	JAXAへ企業同行訪問	① JAXAとの連携による商品開発の可能性調査	4名
実施日	名称	内容	参加者														
2/5	産業技術センターとの意見交換会	① JAXAの概要と知的財産の概要 ② 鳥取県産業技術センターの取組紹介	14名														
3/25	JAXAへ企業同行訪問	① JAXAとの連携による商品開発の可能性調査	4名														
【事業評価】 D 特許等を活用して新たな技術の導入を支援する																	
自己評価		評価理由															
B		① 特許流通支援事業で25件の特許等の活用に係る成約があり、目標対比167%となったとともに、特許流通フェアでは、4社が出展し、有効商談件数52件等の実績があった、大口の技術移転案件が出現するなど大きな成果があった。 ② 一方、特許等取得活用支援事業では窓口支援件数・企業訪問件数で目標件数を下回るとともに、外国出願支援事業では、他の支援メニューを活用する等で活用件数がゼロ件となっていること。 これらの実績からB評価とした。															
○特記事項 ① 特許流通フェア出展企業で大口の技術案件が出現するなど具体的な成果があった。 ② 特許流通支援事業では、実施許諾件数9件のうち6件では事業売上に貢献する等の成果があった。																	
Ⅲ 高度産業人材等の育成の支援																	
インターンシップ等を通じ、県内産業の人材育成・確保を促進する																	
1 県内産業の人材確保のための研修の実施																	
(1) 産業人材の育成支援 ア トップセミナー開催事業 経営者等の意識啓発を促進し、		【実績】 ○開催状況 <table><tr><th>開催場</th><th>セミナー名</th><th>受講者数</th><th>備考</th></tr></table>				開催場	セミナー名	受講者数	備考								
開催場	セミナー名	受講者数	備考														

事業名・内容	事業の実績等				
県内企業の人材育成を推進するため、企業の経営者等を対象とした人材育成等に関するセミナーを開催する。	所・開催日				
	鳥取市 H26. 1. 15	企業経営者のための人材育成トップセミナー 【テーマ】 組織を伸ばす経営者・リーダーの意識改革～人が化ければ組織も化ける～	52 名	講師： (株)オフィスなか がわ 代表 中川政雄 氏	
	米子市 H26. 1. 16	企業経営者のための人材育成トップセミナー 【テーマ】 ほめれば伸びる～企業人材を育てる ほめ方・叱り方～	57 名	講師： (一社)日本ほめ る達人協会 理 事長 西村貴好 氏	
	【成果】 ・東部会場：参加者の 100%が満足以上の回答（81%:大変満足した、19%:満足した）。 ・西部会場：参加者の 100%が満足以上の回答（85%:大変満足した、15%:満足した）				
イ 中堅リーダー育成支援事業 県内企業の事業拡大を促進するため、平成 21 年度以降に経営診断等により人材育成計画を策定した県内企業の中堅リーダーを対象に研修会を開催する。	【実績】 ○開催内容				
	開催場所及び日程	研修名	講師	受講者数	
	鳥取市 10/9、15、23、29（計 4 日間）	マネジメン ト・マーケ ティング研修	(株)マップス 清野裕司氏	8 名	
	米子市 10/30、11/6、13、22（計 4 日間）		MORE 経営コンサルティ ング(株)日野眞明氏	12 名	
	【成果】 ○今年度アンケート結果 ・東部地区 講義内容については概ね理解できたとの回答だが、通常の業務への活用は部署の問題により難しいとの回答もあった。 ・西部地区 講義内容については概ね理解できたとの回答。通常の業務へも活用できるとの回答だった。				
ウ 産業人材育成支援情報発信事業 県内の教育機関、産業支援機関等が行っている研修・セミナー等人材育成に関する情報を一元化し、県内企業へ情報提供を行うウェブサイト（とっとりSTEP）の運営管理を行う。 また、県内産業の人材育成に係る教育機関、産業支援機関、経済団体、行政等が連携した組織「とっとり産業人材育成支援ネットワーク」の運営を行う。	【実績】 ○「とっとり産業人材育成支援ネットワーク」の運営状況				
	実施日	内容	備考		
	6/10	第 6 回運営会議 (25 年度 1 回目)	加盟 17 団体中 12 団体 15 名参加		
	2/13	第 7 回運営会議 (25 年度 2 回目)	加盟 17 団体中 13 団体 15 名参加		
	○「とっとり step」の運営状況				
	項目	全体	うち鳥取県内		
	サイトアクセス件数	6,475 件	3,433 件		
	step 登録件数	148 件	144 件		
(2) 産業人材の確保支援 ア 大学生等を対象としたインターンシップ事業 県内企業への関心を高めることにより、県内企業への就職促進と県内企業の優秀な人材確保を支援するため、大学生等を対象としたインターンシップを実施する。 ※政策目標 インターンシップ参加人数 25 人程度	【実績】 ○大学生等を対象としたインターンシップの実施				
		インターンシップ相談会・説明会		インターンシップ	
	対象機関	回数	参加者数	参加希望	参加決定
	鳥取大学	7 回	263 名	31 名	20 名
	鳥取環境大学	4 回	165 名	5 名	4 名
	米子高専	-	-	20 名	19 名
	その他	-	-	3 名	2 名
	合計	11 回	428 名	59 名	45 名
	(注) 1 名 2 件参加したため、実際の参加者数は 44 名。また参加者 45 名のうち 1, 2 回生は 8 名 ※実績評価（インターンシップ参加件数） 年間目標達成率 180%（+20 件）				

事業名・内容		事業の実績等																					
		○支援機関との連携 鳥取大学を中心として実施された「中国・四国産業界のニーズに対応した協働型人材育成事業（CoHRD）」にオブザーバーとして参加し、事業の取組内容、本事業とのかわり方等について意見交換を実施 【改善点等】 ・本年度より大学１・２回生によるインターンシップについても受入を開始したこと等により、参加者は延べ45名と前年度（22名）に比べ大幅に増加した。 【成果】 ○ 参加者アンケートの結果 - 参加して良かった：91.4%、県内企業への関心が高まった：65.7%、就職活動で県内企業を対象としたい：45.7% ○ 本年度H24年度卒業生(22名)を対象に調査を実施 - 就職者15名のうち県内企業への就職が6名、うち受入企業への就職が1名であった。 (24年度までは、参加者への就職状況等の追跡調査が十分とはいえず、事業の効果を検証できていない状況)																					
イ 高校生等の人材確保事業(工業高校と地域産業界との連携支援事業)		【実績】																					
企業ニーズに対応した人材の育成・確保を促進するため、工業高校と産業界とが連携したインターンシップ等の実践的教育を支援する。		○工業系高校地域委員会に参加																					
		<table><tr><th>高校名</th><th>参加者</th><th>備考</th></tr><tr><td>鳥取湖陵高校</td><td>紺野・人材育成コーディネーター</td><td>7/3、1/31</td></tr><tr><td>境港総合技術高校</td><td>山内・企業支援部経営支援グループ長</td><td>11/22、1/20</td></tr></table>		高校名	参加者	備考	鳥取湖陵高校	紺野・人材育成コーディネーター	7/3、1/31	境港総合技術高校	山内・企業支援部経営支援グループ長	11/22、1/20											
高校名	参加者	備考																					
鳥取湖陵高校	紺野・人材育成コーディネーター	7/3、1/31																					
境港総合技術高校	山内・企業支援部経営支援グループ長	11/22、1/20																					
【事業評価】Ⅲ 高度産業人材等の育成の支援																							
自己評価	評価理由																						
B	① トップセミナーでは109人(目標対比109%)が参加し、100%の者が満足以上の評価をする一方、中堅リーダー研修では、20名と67%の実績となった。 ② 大学生等のインターンシップでは45名が参加し、目標対比180%となるなど、事業実績が大きく上回ったこと、トップセミナーの企業の評価等と合わせて、A評価としたこと。																						
○特記事項																							
① 24年度研修生のうち県内企業に6名、さらにインターンシップを行った企業に1名が就職するなど、具体的な成果が出ている。 ② インターンシップ等の事業が支援機関に移管したこと等に伴い、企業の人材育成について、企業支援の総合的な支援の中で構築することしたい。																							
Ⅳ 産学官の連携促進の支援																							
研究開発の中核機関として、県内産業における新技術の開発や新分野への進出を支援する																							
1 染色体工学研究拠点の形成																							
(1)とっとりバイオフロンティア管理運営事業		【実績】																					
鳥取県より指定管理者の指定(平成23～25年度)を受け、とっとりバイオフロンティア施設の居室・機器の企業・大学への貸し出しを行うほか、施設内の清掃・機器管理等の業務を行う。		○施設の利活用																					
また、施設利用者への機器操作の支援、研究開発・事業化に関する相談を行うほか、とっとりバイオフロンティア内にバイオ人材育成コーディネーターを配置し、バイオに係る専門人材育成のための研修プログラムを実施する。		・実験室等施設入居状況																					
鳥取大学より動物実験施設を借り受け、マウス飼育部屋として企業等へ貸し出しを行う。		<table><tr><th>区分</th><th>設置数</th><th>利用数</th><th>備考</th></tr><tr><td>居室</td><td>4室</td><td>4室</td><td>H24:4室</td></tr><tr><td>実験室</td><td>4室</td><td>4室</td><td>H24:3室</td></tr><tr><td>動物飼育室</td><td>4室</td><td>2室</td><td>H24:1室</td></tr><tr><td>オープンラボ</td><td>1室</td><td>1室</td><td>H24:1室</td></tr></table>		区分	設置数	利用数	備考	居室	4室	4室	H24:4室	実験室	4室	4室	H24:3室	動物飼育室	4室	2室	H24:1室	オープンラボ	1室	1室	H24:1室
区分	設置数	利用数	備考																				
居室	4室	4室	H24:4室																				
実験室	4室	4室	H24:3室																				
動物飼育室	4室	2室	H24:1室																				
オープンラボ	1室	1室	H24:1室																				
		・2階機器利用状況																					
		<table><tr><th>区分</th><th>利用回数</th><th>備考</th></tr><tr><td>4～3月</td><td>20,410回</td><td>H24: 6,299回</td></tr></table>		区分	利用回数	備考	4～3月	20,410回	H24: 6,299回														
区分	利用回数	備考																					
4～3月	20,410回	H24: 6,299回																					
		○バイオ人材育成講座開催 内訳は別添資料のとおり。																					
		8講座、175名参加																					
		○利用促進・入居企業支援活動																					
		・BioTech2013ブース出展(5/8～10)																					
		・バイオジャパン2013参加(10/9～11)																					
		・日本薬学会スポンサードシンポジウム共催(3/27～30)																					

事業名・内容	事業の実績等																			
	【改善点】 ・関係機関や入居者等との定期的な意見交換等を行い、適切な管理運営に努めサービス向上 ・機器予約システムの導入により利用者の利便性の向上、機器利用の大幅な増加 ・管理規則を改正し、入居許可期間を1年更新とし、事業計画や実績の審査体制を構築 【課題】 ・未利用の動物飼育室への入居に向けて利用促進活動が必要 ・居室等が満室の状態であり、今後の研究等の進展でベンチャーや共同研究参画社の入居希望に応えられない場合もある。 【成果】 ・BioTech2013に2社出展 ・機器予約システムの導入により利用者の利便性の向上により、機器利用が前年度に比べ大幅に増加																			
(2)とっとりバイオフィロンティア基金事業 利用者へのサービスの向上や機能の充実に繋げるため、職員の資質の向上や機器整備等を行う。	【実績】 ○機器整備内容 <table><tr><th>整備内容</th><th>目的</th><th>効果等</th></tr><tr><td>ホットプレート</td><td>マウス・ラット等の動物実験の体温低下の抑制</td><td>円滑な実験の実施</td></tr><tr><td>除菌水精製装置</td><td></td><td>衛生的な環境の整備</td></tr><tr><td>その他超低温フリーザー貯蔵ケース、液体窒素の予備タンク、培養室警報器を設置、炭酸ガスボンベ等の機器整備</td><td></td><td>利便性の向上</td></tr></table> 【成果】 ・貯蔵スペースの不足や液体窒素不足で実験に支障をきたすといった状況がなくなり、機能充実とサービス向上 ・警報器を設置したことにより実験室の安全性が向上	整備内容	目的	効果等	ホットプレート	マウス・ラット等の動物実験の体温低下の抑制	円滑な実験の実施	除菌水精製装置		衛生的な環境の整備	その他超低温フリーザー貯蔵ケース、液体窒素の予備タンク、培養室警報器を設置、炭酸ガスボンベ等の機器整備		利便性の向上							
整備内容	目的	効果等																		
ホットプレート	マウス・ラット等の動物実験の体温低下の抑制	円滑な実験の実施																		
除菌水精製装置		衛生的な環境の整備																		
その他超低温フリーザー貯蔵ケース、液体窒素の予備タンク、培養室警報器を設置、炭酸ガスボンベ等の機器整備		利便性の向上																		
(3)地域イノベーション戦略支援プログラム 染色体工学技術等のライフサイエンス分野の技術シーズを医療・医薬品分野の企業等を連携して事業化を図る。	【実績】 ○新規テーマ「鳥取大学発染色体工学技術を用いた創薬支援等新産業クラスターの創出」 ～世界に誇る鳥取大学発染色体工学技術を活用し、都市エリア事業として得られた成果を踏まえ、この染色体工学技術のグローバル化を図るとともに、ヒト（HAC）及びマウス（MAC）人工染色体を用いた事業化と創薬支援等新産業クラスターの創出を目指す。 ○機構の担当分野 「知のネットワークの構築」 ・事業全体の進捗管理を行うプロジェクトディレクター（PD） ・関係機関との連携、産学とのマッチングを行う地域連携コーディネーター ○実施概要 <table><tr><th>項目</th><th>目的・内容等</th><th>期日等</th></tr><tr><td>キックオフセミナー</td><td>ネットワークの強化</td><td>12/17 108名参加</td></tr><tr><td>推進協議会</td><td>推進体制を整備</td><td>7/22、10/18、2/26</td></tr><tr><td>国際技術動向調査Unit会議</td><td>外部識者4名から事業化に向けての提言</td><td>3/12-13</td></tr><tr><td rowspan="3">情報収集等</td><td>他地区と意見交換・交流促進</td><td>熊野PD：2/12</td></tr><tr><td>地域イノベ関連の研究者等から情報収集</td><td>熊野PD：1/28、1/31、2/7、2/12、2/21、3/6</td></tr><tr><td>関連技術の情報収集、企業やVC等と交流促進のため学会及び交流会に参加</td><td>熊野PD：1/14、1/14-15、1/16-18、2/10、2/26、2/28、3/27、3/31</td></tr></table> 【課題】 ・国際技術動向調査Unit会議後の三者協議（大学、県、機構）の開催、事業化に向けた検討 ・外部評価委員会を開催し、プログラム全体の方向性を確定	項目	目的・内容等	期日等	キックオフセミナー	ネットワークの強化	12/17 108名参加	推進協議会	推進体制を整備	7/22、10/18、2/26	国際技術動向調査Unit会議	外部識者4名から事業化に向けての提言	3/12-13	情報収集等	他地区と意見交換・交流促進	熊野PD：2/12	地域イノベ関連の研究者等から情報収集	熊野PD：1/28、1/31、2/7、2/12、2/21、3/6	関連技術の情報収集、企業やVC等と交流促進のため学会及び交流会に参加	熊野PD：1/14、1/14-15、1/16-18、2/10、2/26、2/28、3/27、3/31
項目	目的・内容等	期日等																		
キックオフセミナー	ネットワークの強化	12/17 108名参加																		
推進協議会	推進体制を整備	7/22、10/18、2/26																		
国際技術動向調査Unit会議	外部識者4名から事業化に向けての提言	3/12-13																		
情報収集等	他地区と意見交換・交流促進	熊野PD：2/12																		
	地域イノベ関連の研究者等から情報収集	熊野PD：1/28、1/31、2/7、2/12、2/21、3/6																		
	関連技術の情報収集、企業やVC等と交流促進のため学会及び交流会に参加	熊野PD：1/14、1/14-15、1/16-18、2/10、2/26、2/28、3/27、3/31																		

事業名・内容	事業の実績等								
	【成果】 ○ 鳥取大学との共同研究に製薬・計測機器メーカー等10社が参画、今後事業化への取組みが推進 ○ 大学発のベンチャービジネスに1社検討中の案件が出現したこと。								
2 石油精製物質等の新たな化学物質規制に必要な国際先導的有害性試験法の開発（経産省委託事業）									
(1) 石油製品需給適正化調査等事業 鳥取大学との共同研究により、とっとりバイオフロンティアを研究実施拠点として、化学物質によって毒性が発現する可能性が高い肝毒性、腎毒性、神経毒性のそれぞれの毒性に関する有害性評価システムについて、簡便で高精度の試験管内（in vitro）試験系の開発を県外の試験研究機関と連携して実施する。	【実績】 以下の4つの研究テーマを実施 <table border="1"> <thead> <tr> <th>テーマ名</th><th>参画機関</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・肝臓毒性in vitro試験法の開発 ・腎臓毒性in vitro試験法の開発</td><td>機構、鳥取大学、岡山大学、食薬センター</td></tr> <tr> <td>神経毒性in vitro試験法の開発</td><td>住友化学</td></tr> <tr> <td>ハイスループットスクリーニング試験系の構築に向けた基盤技術の開発</td><td>産業技術総合研究所</td></tr> </tbody> </table> ～研究の進捗状況は、概ね当初の計画どおり（9/26に中間評価が実施され、良好な評価） 【課題】 次年度以降の継続が決定（実質上上年度での成果が重要） 【研究概要】 肝臓毒性、腎臓毒性及び神経毒性in vitro試験法の開発（略称：細胞プロジェクト） ・目的 既存化学物質のリスク評価や有害性調査指示の的確な実施に貢献 ・シーズ 染色体工学技術及び細胞発光技術等の先端技術を活用 ・研究開発 迅速かつ効率的に実施できるハイスループットを考慮した肝臓・腎臓毒性及び神経毒性in vitro試験法を開発	テーマ名	参画機関	・肝臓毒性in vitro試験法の開発 ・腎臓毒性in vitro試験法の開発	機構、鳥取大学、岡山大学、食薬センター	神経毒性in vitro試験法の開発	住友化学	ハイスループットスクリーニング試験系の構築に向けた基盤技術の開発	産業技術総合研究所
テーマ名	参画機関								
・肝臓毒性in vitro試験法の開発 ・腎臓毒性in vitro試験法の開発	機構、鳥取大学、岡山大学、食薬センター								
神経毒性in vitro試験法の開発	住友化学								
ハイスループットスクリーニング試験系の構築に向けた基盤技術の開発	産業技術総合研究所								
3 ものづくり分野における新たな基盤技術の開発等									
(1) 戦略的基盤技術高度化支援事業 複数の中小企業や大学、公設試験研究機関等が連携する研究開発について、管理法人等として、プロジェクトを推進する。（ casting、鍛造、切削加工、めっき等の22の分野の技術の向上につながる研究開発からその試作までの取組を支援する国の委託事業） また、競争的資金獲得に向けた提案力等の強化を図るため『競争的研究資金獲得支援セミナー』を開催する。	【実績】 ○継続実施中テーマ 「環境対応車用中空シャフトの熱間中空鍛造と回転加工による複合成形技術の開発」（明治製作所） ・第1回推進会議を7月に、第2回推進会議を1月に実施。 ・25年度計画のすべてを完了し、成果報告書を委託元へ提出した。 ○新規テーマ 「あらゆるアルミ系素材に適応し、かつ毒物を使用しない表面処理技術の開発」（アサヒメッキ） ・7月に採択（現在実施中） 【成果】 「環境対応車用中空シャフト」及び「表面処理技術の開発」とともに、26年度事業継続が決定（2月の継続審査ヒアリング後決定済み）								
(2) 課題解決型医療機器等開発事業 技術を有する中小企業が中心となり、医療現場のニーズに基づいた医療機器の開発、実用化を支援するため、管理法人等として、プロジェクトを推進する。	【実績】 ○本年度提案テーマ「大腸検査の苦痛を解決するための触覚付き先端駆動式全周内視鏡の開発」 ・7月に採択（実施中） ・第1回推進会議を11月に、第2回推進会議を1月に実施。 ・平成25年度実施計画のすべてを完了し、成果報告書を委託元へ提出した。 【成果】 1月の継続審査ヒアリング（有識者委員会）を経て、26年度事業継続が決定								
4 企業間及び研究機関等とのマッチングの場の活用									
県内の産学金官の関係機関により、企業の商品や技術及び大学等の研究成果を発信する「とっとり産業フェスティバル」の開催に合わせて、県内企業の展示や商談会等を実施することにより、県内企業の製品開発や販路開拓を支	【実績】 ○とっとり産業フェスティバルの開催状況 ・日程：25.9.6～9.7 ・場所：コカ・コーラウエストスポーツパーク ・参加企業数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th><th>参加者数等</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出展企業</td><td>69社</td></tr> </tbody> </table>	項目	参加者数等	出展企業	69社				
項目	参加者数等								
出展企業	69社								

事業名・内容		事業の実績等										
援する。 同時開催される「鳥取環境ビジネス交流会」も活用し、環境ビジネスに係る販路開拓等を推進する。		発注企業	8社									
		来場者数	1,670名									
		※昨年度の来場者は1,422名（前年比+248人）										
		【改善点】 ・今年より、県、大学、機構それぞれから副実行委員長を選出し、役割分担して企画運営を行うとともに、機構は、出展企業集めと商談会開催を担当し、MG・CDを動員して企業に参加を募った。										
		【課題】 ・ビジネス客が少なく、次年度に向けたさらなる改善について、実行委員会等で協議を行っている。										
		【成果等】 ・出展企業のアンケート結果によると、今回の出展に「満足」・「ほぼ満足」と回答した企業は66%（昨年度の51%）であった。 ・来場者も増加し、改善の効果が見られた。										
	【事業評価】Ⅳ 産学金官の連携促進の支援											
自己評価	評価理由											
B	地域イノベーション戦略支援プログラム、課題解決型医療機器等開発事業の新規採択を受けるとともに、戦略的基盤技術高度化支援事業についても新たに新規1件の採択を受け、中核機関、管理機関として研究開発業務を実施するとともに、とっとり産業フェスティバルでは、商談会等企業のマッチングを支援したことからB評価とした。											
○特記事項												
① 平成26年度以降5年間、とっとりバイオフィロンティアの指定管理を受託することとなった。												
② 地域イノベーション支援プログラム、課題解決型医療機器等開発事業について、26年度以降も引き続き採択になったこと。												
Ⅴ 管理運営体制の確立												
企業ニーズを的確に把握し、総合的な支援を行うとともに、公益財団法人の適正な管理・運営に資するよう、組織体制の整備等を図る												
1 総合的な企業支援の実施												
(1) 企業支援コーディネーターの設置 中小企業の抱える課題を一元的に把握し、効率的な支援を行うため、企業支援コーディネーターを設置する。コーディネーターは、企業への総合的な支援に向けて、支援チームを組織する等の対応を行うとともに、県内企業における緊急的な課題への戦略的な支援についても対応する。 ※政策目標 支援件数300件(延べ件数) 企業支援件数5件(新規事業等の構築)		【実績】 内訳は別添資料のとおり。 <table><tr><th>区分</th><th>件数</th><th>備考</th></tr><tr><td>支援件数(延べ件数)</td><td>135件</td><td></td></tr><tr><td>企業支援件数</td><td>9件</td><td>新規事業等の構築に繋がるのは5社</td></tr></table> ※支援企業のうち、新規事業等の構築に繋がるのは5社 ・支援延べ件数 年間目標達成率 45.0% ・支援企業数(新規事業等の構築に繋がるもの) 年間目標達成率 100.0% (5社)		区分	件数	備考	支援件数(延べ件数)	135件		企業支援件数	9件	新規事業等の構築に繋がるのは5社
区分	件数	備考										
支援件数(延べ件数)	135件											
企業支援件数	9件	新規事業等の構築に繋がるのは5社										
		【課題】 ・支援件数は、年間達成率が45.0%となっているが、本事業は新規事業の構築、事業分野の拡大、企業競争力の向上等が目的であり、当該目標の達成にこだわるよりも、企業支援の実質的な成果に向けて事業を推進していくこと。										
		【成果】 A社：LED道路照明に進出し、県道用道路照明に採用。大手経由の販路を開拓し、3機種登録。 次年度に向け、標準原価方式に基づく事業計画策定を支援した。 B社：建設業から資材開発供給等新事業立ち上げプロジェクトの推進を支援。大手企業等との試験施工の好評により大手や行政からの受注に成功した。 C社：自社製品開発に向けた社内安全規格を構築した。定期的な訪問に加えてセミナーを7回実施し、安全文化を情勢した。また、自社製品のリスクアセスメントを指導・助言した。 D社：景表法に適合する商標の指導し、商標登録出願を指導した。										
(2) 企業調査・企業アンケートの実施 全ての賛助会員企業を調査し、ニーズを的確に把握するとともに、企業アンケートを実施し、施策の立案、事業の実施に活かす。		【実績】 ○企業調査・企業アンケートの実施（7月） 集計の結果、回答が得られた企業の62.5%が当財団の支援サービスを受けたことがあり、その内43.8%がそれに対し「大変満足した・満足した」と回答。 必要な支援として「販路開拓の斡旋」「販売力・受注力強化に関する支援」のニーズが多い一方で、「利用したい商談会・セミナー等がない」との意見があった。										

事業名・内容		事業の実績等											
※政策目標 毎年度1回実施		【課題】 ・ニーズに適した商談会やセミナーの開催を検討(→別途アンケート調査等を実施) ・アンケート、企業支援方策等が一体的に実施できるようシステム化していくことが必要											
2 機構の適正な管理・運営の実施													
(1) 事業の継続性の確保 財団の組織体制を強化し、プロパー職員を中心とした運営体制への移行を図るため、当財団が実施すべき核となる12の事業を「基幹事業」として位置付け、事業の継続性を確保するとともに、その実施に必要な組織及び人員の定数化を図る。		【実績】 ○職員の募集・採用状況 <table><tr><th>採用内容（人数）</th><th>採用時期</th></tr><tr><td>特許流通担当コーディネーター(1)</td><td>4月</td></tr><tr><td>人材育成コーディネーター(人材育成担当) (1)</td><td>4月</td></tr><tr><td>国際ビジネスコーディネーター(1)</td><td>6月～11月</td></tr><tr><td>農商工連携(販路開拓担当)コーディネーター(1)</td><td>採用者なし</td></tr></table>		採用内容（人数）	採用時期	特許流通担当コーディネーター(1)	4月	人材育成コーディネーター(人材育成担当) (1)	4月	国際ビジネスコーディネーター(1)	6月～11月	農商工連携(販路開拓担当)コーディネーター(1)	採用者なし
採用内容（人数）	採用時期												
特許流通担当コーディネーター(1)	4月												
人材育成コーディネーター(人材育成担当) (1)	4月												
国際ビジネスコーディネーター(1)	6月～11月												
農商工連携(販路開拓担当)コーディネーター(1)	採用者なし												
(2) 支援体制整備事業 県内唯一の中核的支援機関である機構の支援体制の維持・強化を図るとともに、平成24年度にリニューアルしたホームページ等を活用し、県内企業へ情報を発信する。 ・機構の実施事業のPR ・企業データベースの維持・管理		【実績】 ○支援体制の維持・強化 会計事務効率化のためのシステム再構築の検討 ○情報発信 ・各事業の情報等を発信するため、定期的にメールマガジンを発信 ・プラサダより3回発信（2～3ヶ月に一度） ○24年度に整備したホームページを活用し、受注企業ハンドブックの内容を検索できるシステムを構築した。											
(3) 情報センター事業 ホームページの機能や操作性について検証を行い、より使い勝手が向上するよう改善を図ると共に、利用者が安心して閲覧できるようセキュリティ対策等を実施する。		【実績】 ・リニューアル後のホームページを運用しながら機能等を確認中 ・Windows XPのサポート終了(2014/4)に伴い、財団所有PCを更新（28台／95台）。 ～ホームページについては現時点で問題なし。											
(4) 施設管理事業 当財団の施設を入居室として企業に貸し出すとともに、入居企業等利用者の安全な利用環境の保全を図る。		【実績】 ○入居状況 ・充足率100% ○修繕等施設管理状況 ・電気の子メータ交換 1,722千円（7月実施） ・受水槽の撤去 683千円（2月実施）											
【事業評価】 V 管理運営体制の確立													
自己評価	評価理由												
B	① 施設の維持管理を適切に行うとともに、利用促進を図り入居率100%となっていること。 ② 新聞等に資料を提供し、新聞・テレビ等で年間22回報道され、機構の支援について周知が図られた。 ③ 24年度整備したHPを活用し、受注企業ガイドブックの内容を検索できるシステムを構築した。 これらの状況を踏まえ、B評価と判断した。 (企業支援コーディネーターの設置については、1 県内企業の受注促進・販路開拓の支援で評価した。)												
○特記事項													

【資料編】

I 県内企業の経営基盤の強化の支援

A 販路開拓や受注機会の拡大による取引量増大を通じ、県内企業の成長発展を支援する。

1 県内企業の受注促進・販路開拓の支援

(1) 事業化育成支援事業

◎年間プロジェクトの状況

○電機・機械担当マネージャー

項 目	内 容
提案型企業の育成支援	○ 県内企業が自社の持つ強みや特長を明確に打ち出し、それを活かした新たな販路開拓を行うこと、また、鳥取県企業全体のイメージアップを図ること等を目的として、提案型企業ガイドブック『魅せます、鳥取企業の得意技』を11月中旬に完成させた。 (掲載企業：105社 提案案件：120件) ○ 関西経済連合会（以下関経連という）加盟企業1,100社に提案型ガイドブック抜粋版（県内代表企業27社）を送付、更にそのうちの75社に対して、提案型ガイドブックを持参し、個別に県内企業の技術・製品のPRを行った。
販路開拓の支援 (商談会・展示会等の企画、開催等)	○ ダイキン工業を県内に招聘。県内企業との個別マッチングを実施した結果、見積依頼、金型相談等の商談につながった。 ○ 富士重工業へ県内の技術・企業を提案するため、社内イントラで技術者が県内技術を閲覧できるように対応した。 ○ アイシン精機安城工場と県内の基盤・ハーネス関連企業5社の調達検討会を開催(10/7)。目標の金額に届かず取引成立に至らなかったが、今後、違う業種での検討会が実現できるよう対応していきたい。 ○ 機械要素技術展、電子部品E X P Oなどで大手企業をブースに招聘。県内企業との商談機会をセッティングした。
【成果】	○ 新規に企画、作成した提案型ガイドブックを活用して販路開拓を行った結果、日立造船と県内企業11社との個別訪問による商談の企画（来期実施予定）等、関経連加盟企業10社と県内企業22社との間で新しい商談が進行中、あるいは進行予定である。引き続きフォローを行う。 ○ 県内企業をアイシン精機に紹介してから2年が経過し、すぐれた技術力を評価された企業が、量産納入を開始することとなった。受注企業からは、機構に感謝しているとの言葉をいただいている。

○食品担当マネージャー

項 目	内 容
商品開発の支援	○ 農商工連携CD等と連携しながら、地場の農産品を活用した新たな食品加工品を創造し、県内の農商工連携や6次産業化の活性化を図ることを目的としたセミナーを実施(10/20)
販路開拓の支援	○ 新規な取組として通信販売企業2社を招聘し、商談会を実施 ○ 多くの中堅・中小のスーパーが加盟している共同体（C G C）と県内の特定行政区域（琴浦町）にある食品関連業者を中心に、地域色の高い商談会を実施、その後県外での催事等開催に発展するなどの成果を得た。
【成果】	○ とりぎん食品商談会の結果、鳥取畜産協同組合とアクト中食との間で年間取引が開始 ○ 中合三春屋との間で、週2回八戸市への定期便が開始

○次世代産業担当マネージャー

項 目	内 容
LED関連産業の振興	○ 景観照明デザイナーと連携し駅北口のLED照明の開発支援を行い、点灯式（8/7）を経て実証実験を実施 1社へは専門家派遣事業を活用し、照明デザイナーが商品化に向けた具体的な助言・指導を実施（H25/12/24）。 ○ 県内LED関連企業の新たな販路開拓として1/15～1/17日開催の専門展示会（ライティングジャパン2014）に鳥取県ブースを設置し、実証実験中の企業を含む4社の出展及び企業マッチングの支援を実施 ○ 経済産業省成長産業振興・発展対策支援事業を展開し、LEDセミナー開催（H25/10/4実施）、県内企業への専門家派遣を実施し商品化促進を支援（H26/2/15実施）。また、3月にLED Next Stage 2014（展示会）に中国ブロック合同で出展。鳥取県からは2社が出展し、受注マッチングを実施した。マッチング依頼企業として信越化学工業㈱、（独法）鉄道建設・運輸施設整備支援機構、市光工業㈱、東洋精箔㈱、日立金属㈱、朝日エティック㈱を訪問（H 26/2）。
太陽電池等エネルギー産業への支援	○ 25年度太陽電池用小型過電流遮断機の開発支援を開始、26年度高エネルギー密度蓄電池の研究開発及び太陽光発電に係わる事業化支援の予算化に取組み県と連携実施。
【成果】	○ 照明デザイナーと県内LED関連企業のコラボレーションによる受注 ○ライティングジャパン2014実績 期間中の商談件数109件、うち試作・見積依頼4件、後日訪問等アポイント31件。引き続きフォロー ○環境エネルギー関連 旭東電気㈱と契約

2 県内企業の海外展開の支援

(1)「北東アジアゲートウェイ+」実践事業

イ 海外商談会開催事業

○商談会・展示会（海外）支援状況

期 日	名 称	出展企業数	商談件数	成 果
6/9～ 6/12	GTI国際貿易・投資博覧会（韓国江原道江陵市）	1	14	出展企業が現地展開のキーパーソンとなる企業等と商談を継続中であり、引き続き支援を行う。
9/6 9/11	第9回中国・北東アジア博覧会（中国吉林省長春市）	4	127	これまでに成約3件、成約見込2件の成果。現在も9件の商談が進行中であり、引き続きフォローしている。
9/28、29	2013鳥取ブランド展 inロシア	5	5	販売が好調で、輸入商社からモスクワで開催する展示会にも出店してほしいと依頼された企業や、早速、ウラジオストク市内の日本料理店と商談を行う企業があるなど、ブランド展が新たな販路開拓のきっかけとなる役割を果たした。
3/10	食品輸出商談会 in山陰	7	14	ジェトロと共催でアメリカ、ブラジル、ドイツ、ロシア、中国、シンガポールの日本食に関心のある企業6社を招へいし、山陰地域の食材や食品を商談した。

B 県内企業の経営改善を支援する

2 経営改善等に関する各種セミナーの開催

(1)ものづくりカイゼン塾事業

○実施済

実施日	名称	講師・講演内容
8/20	商品開発・企画力向上セミナー	・山 村 真 一 氏（㈱コボ代表取締役社長） ～ 9/10～11に（地独）鳥取県産業技術センターと連携し、本セミナー講師による個別企業相談会（4社）を実施。事業化・製品化に向けて支援を継続中。うち1社がデザイナーとの連携による具体的な製品開発に着手
8/27 ・28	マーケティング・販売戦略セミナー	・大 平 孝 氏（㈱ゴールドボンド代表取締役） ～ 農商工連携ファンド事業を活用して10/10からH26/1月までに県内企業4社に対し、本セミナー講師による個別企業相談（商品ブラッシュアップ）を4回ずつ実施。うち2社がブラッシュアップ後の商品をH26/3月の「FOODEX JAPAN 2013」へ出展し、新たな販路開拓を行った。
10/9 （米子市）	中国地域医療機器関連産業支援フォーラム in とっとり	・大 平 猛氏（九州大学先端医療イノベーションセンター教授） ・植 木 賢氏（鳥取大学次世代高度医療推進センター特命准教授） 他5名 ～ フォーラム後、大平教授、植木准教授によるグループワークを開催。大平教授との具体的な機器開発に着手する方向で進捗している企業あり
2/18	医療機器関連産業新規参入セミナー（鳥取市）	・大 平 猛氏（九州大学先端医療イノベーションセンター 教授） ・藤 井 留幸氏（㈱エフオー代表取締役） ～ セミナー後、大平教授を座長としたグループワークを開催し、県内企業の医療機器分野への参入について意見交換を行った。また、九州大学との共同研究開発に向けて進捗予定の企業1社あり

II 県内企業の技術及び経営の革新の支援

B 成長産業分野の産業集積を支援する

1 自動車部品関連産業の育成の支援

(1)エコカー関連産業育成・支援事業

○EVメーカー支援状況

項目	実績	備考
ナノ社相談（訪問）件数	11件	
ナノN社支援件数	10件	①合同支援会議（5/7） UNIMO発表会（4/12） ②企業紹介8件 ③UNIMO部品説明商談会（6/26）
デンバ社相談（訪問）件数	5件	
デンバ社支援件数	5件	①合同支援会議（5/8） ②川崎重工訪問（5/28） ③自動車技術会強度計算基準書提供（6/6）

		④認定試験の「試験方法」一式入手(8/19) ⑤型式認定に関する資料一式をCD-Rで提供(11/7)
エコカー関係者会議回数	8回	4/12、5/13、6/17、7/22、9/2、11/5、12/24、3/18

注) ナノ社：ナノプトクス・エナジー デンバ社：デンバジヤパン

(2)自動車部品関連産業育成事業

○自動車部品関連企業支援状況

項目	実績	備考
セミナー開催	1回	10/31 (米子)
研究会だより発行	10回	4月よりスタート
研究会ニュース発行	14回	9月よりスタート
相談(訪問)件数	143件	(ナノ社、デンバ社除く。)
県外販路開拓件数	9件	小野測器・音戸工作所・マツダ(株)・久保田鐵工所・ジヤトコ(株)・ (株)ユニバンス・(株)JALエンジニアリング・NSウエスト・カルソニックカンセイ(株)
支援事案件数	11件	車両盗難防止装置(S社)/医工連携(L社)/ものづくり補助金(T社)/ブレーキリ ヤ(I社)/ワイヤハーネス(S社)/大学共同研究(B社)/EWホップ(IM社)/ISO取得(K 社)/SW試作提案(IG社)/ブレーキアシスト用モータ(A&M)/融資案件(米信)/LED評価 試験(IM社)
展示会・セミナー 情報展開件数	14件	①ホンダ車ベンチマーク ②マレーシア・インドネシアミッション ③ホンダ商談会 ④マツダ技術ニュース発信会 ⑤マツダ技術シーズ提案会 ⑥研究会セミナー案内 ⑦ ～⑩ひろしま産振興の案内・セミナー4件 ⑪ホンダ車分解展示見学 ⑫タイビジネスの案内 ⑬ものづくり補助金案内 ⑭自動車関連の冊子の案内
展示会出展等支援 件数	3件	①(株)ユニバンス商談会(8社) ②マツダシーズ提案会(4社) ③ホンダ商談会(6社)
中国・九州地域情 報交流回数	5回	①6/13 ②8/2 ③1/24 ④2/4 ⑤3/18

2 リサイクル産業等環境分野の集積の支援

(1)リサイクル産業クラスター形成支援事業

○リサイクル産業クラスター形成の状況 (研究会・検討会等)

期日	名称	連携企業等	概要
3/24	廃棄イチジクの機能性評価、商品化研究	体験農場ナオ、鳥取県産業技術センター(食品)、鳥取大学、 タングルウッド	廃棄されるイチジクの機能性評価試験と商品化の研究開発
2/21	焼却灰リサイクル検討会	呉島組、中部ふるさと広域連合、 鳥取県衛生環境研究所、鳥取大学、鳥取環境大学	自治体から廃棄される一般廃棄物の資源化
2/12	環境リサイクル交流会	(島根県主催) 日本ハイコン、松江高専	研究開発事業に係る研究成果、 商品化の検討状況等の発表
2/4	焼却灰リサイクル推進委員会	中部ふるさと広域連合、鳥取県、 鳥取県衛生環境研究所	自治体から廃棄される一般廃棄物の資源化
1/9	バイオマスボイラー開発検討会	松原産業、米子高専、鳥取県産業技術センター、田辺弁理士	廃棄されるオイルフィルターを燃料として開発、使用可能なボイラーの開発
12/24	もみ殻燃料化装置	鳥取農業協同組合、鳥取中央農業協同組合、トロムソ(広島)	農業分野における廃棄物の再資源化に係る研究開発、製品化

期日	名称	連携企業等	概要
12/16	バイオマスボイラー開発検討会	松原産業、米子高専、鳥取県産業技術センター	廃棄されるオイルフィルターを燃料として開発、使用可能なボイラーの開発
12/3	焼却灰リサイクル	北溟産業、大協組、鳥取県産業技術センター	重金属（鉛）不溶化技術の確立 コンクリート硬化体への利用の検討
11/15	人工海底山脈（鉄鋼スラグ、フライアッシュ有効利用）	鳥取大学、やまこう建設、中国電力、ティーアイ環境開発、しまね産業振興財団	鳥取・島根鉄鋼スラグ等商品化研究会による取組みとして、海底マウンド（コンクリート硬化体での魚礁）の研究開発
10/21	桑の葉エキス	今松工務店、タングルウッド、日野町商工会	廃棄される桑の葉の有効成分の抽出、サプリメント原料としての商品化の研究開発
10/18	人工海底山脈構想（鉄鋼スラグ、フライアッシュ有効利用）	鳥取大学、やまこう建設、中国電力、ティーアイ環境開発、しまね産業振興財団	鳥取・島根鉄鋼スラグ等商品化研究会による取組みとして、海底マウンド（コンクリート硬化体での魚礁）の研究開発
9/18	廃鋳物砂利活用検討会	日本ハイコン、米子製鋼、松江高専、しまね産業振興財団	鉄鋼品を製造する過程で排出される鋳物砂をコンクリート2次製品として有効利用
8/19	焼却灰リサイクル検討会	呉島組、中部ふるさと広域連合、鳥取県衛生環境研究所、鳥取大学、鳥取環境大学	自治体から廃棄される一般廃棄物の資源化
7/10	和のアロマ商品化検討会	赤松産業、中井技研、I S L	間伐材から精油を抽出、その効果の検証と商品化
7/2	研究会の開催「都市緑化研究会」	北溟産業、井木組、フジタ、昭和化学工業、GIC、エコマ、フジ化成工業	環境分野に係る情報交換研究会
7月～	吾左衛門鮓の廃棄ロスの低減	米吾、鳥取県産業技術センター（食品）	期限切れにより廃棄される吾左衛門鮓のロス低減
6/14	研究会の開催「鳥取・島根連携鉄鋼スラグ等商品化研究会」 講演会の開催「進化する人工海底山脈」	やまこう建設・米子製鋼、日本ハイコン、日立金属 他	鳥取・島根で輩出される産業副産物（鉄鋼スラグ、鋳物砂）の商品化に向けての取組み
5月～	「鳥取県版」紙おむつ処理装置の開発	高林産業、海老田金属、鳥取県産業技術センター、広江病院、鈴与	広江病院から排出され、海老田金属が回収する廃紙おむつの実証事業

○事業化、商品化に向けた補助事業利用による支援

- ・ものづくり事業化応援補助金（調査型）（新規2件）

企業名	テーマ
(株)YSエンジニアリング	サトウキビトラッシュ選別
(株)米吾	吾左衛門鮓の廃棄ロス低減

- ・研究開発事業

(新規3件)

企業名	テーマ
タングルウッド	県産品を使用した機能性化粧品開発とそのブランド化研究
体験農場ナオ	廃棄イチジクの機能性評価、商品化研究
(有)松原産業	農業用温水機の燃料自動投入機に関する研究開発

・リサイクル技術製品実用化事業
(継続1件)

企業名	テーマ
新和産業(株)	中海産海藻肥料の乾燥技術の開発

(新規1件)

企業名	テーマ
タングルウッド(株)	乳業廃棄物の産業的利用

・リサイクルビジネスモデル支援事業 (新規2件)

企業名	テーマ
高林産業(株)	「鳥取県版」紙おむつ処理装置
三光(株)	一般可燃ごみメタンガス発電

・鳥取県農商工連携ファンド事業 (新規1件)

企業名	テーマ
(株)赤松産業	地域資源（ヒノキ、スギ）及び可溶化技術を用いた水溶性アロマオイルの開発と抗かび・抗ダニ材への応用

(2) リサイクル製品販売強化事業

○販路開拓支援状況 (16社)

企業名	商品名	支援状況等
エコマ	エコマウッド	展示会（建築建材展2014）出展支援
ケイケイ	生分解性園芸ポット	(株)タカショー 藤岡顧問 風来坊グループ（岡山：旧ストックファーム）プレゼン
赤松産業	草難です（防草材）	
鳥取再資源化研究所、	発泡ガラス	展示会等出展支援
藤森産業機械	生ごみ処理装置	
(株)エプト	水質浄化材、床下調湿材	安全性、試験評価方法の支援及び試験評価、施工先の提案。
(有)藤本研磨材商会	透水性グレーチング	先行技術調査、特許取得に関する案内。適用骨材（リサイクル）の提案、販売方法、取り組みの進め方について支援。
(株)クエスト		
(株)エムコ	魚の鱗(コラーゲン)	専門家派遣（ミラサポ）（(株)ライフビジョン：東京）特産品と合わせた企画提案検討。通販協会
(有)オールエンジニアサービス	廃蛍光管リサイクル技術	中四四国地方環境事務所（環境省）、倉吉市、琴浦町、湯梨浜町、北栄町 デモンストレーション 産廃企業（海老田金属）とのマッチング（中間処理）
赤松産業	草難です	商品販路と施行委託先の整備、環境展（5月）展示会

	(防草材)	出展支援
米子製鋼	廃鋳物砂	(株)ケイナン（島根県横田町）下層路盤として使用検討
松原産業	バイオマスボイラー	農業用ハウスとしてテスト販売
(株)大協組	エコソイル	環境展（5月）展示会出展支援
三光(株)	再生砂	中部ふるさと広域連合最終処分場に使用検討
(有)アースウェイ	ママサポート	生ごみ処理装置販路支援（米子市補助対象商品としてモニター販売の検討）

(4) 次世代環境ビジネスを支える技術等向上事業

実施月	講座名・場所	内 容
6月	講座1・2 鳥取、米子	電気基礎（太陽電池） 参加者数：36名
7月	講座3 鳥取、米子	電気基礎（太陽電池基礎、系統連系、関係法規） 参加者数：33名
8月	講座5 倉吉	構造（関係法令解説、構造計算） 参加者数：34名
9月	講座4 倉吉	電気基礎（電気計測基礎） 参加者数：26名
10月	講座7・8 鳥取（2回）	応用（保守管理）（実技、解析） 参加者数：32名
11月	講座6 倉吉	応用（施工）（システム設計、施工の留意点） 参加者数：26名

3 新たな成長産業の振興・発展の支援

(1) 成長産業振興・発展対策支援事業

ア LED 関連分野事業

①企画検討会議

実施日	場所	内容等
7/25	広島	年間実施事業の協議
10/21	広島	事業進捗、販路開拓事業等の協議
12/17	山口	事業進捗、マッチング事業等の協議
H26/1/23	広島	事業進捗、マッチング事業等の協議、展示会打合せ

②セミナー・研修開催事業

○各県開催(各県1回)

開催日	開催地域	テーマ等
8/7	広島	これからの LED 照明に求めること
10/4	鳥取	LED で激変する世界の夜間景観
12/17	山口	LED 等次世代デバイスで変化する景観デザインと関連する屋外照明
H26/2/19	島根	LED 照明～建築と都市で、こう活かす。LED 照明の現状と適用事例～

○先進地域開催(東京、山形)

開催日	場所	内容等
9/7	東京	LED 照明シンポジウム
11/14～15	広島(山形代替)	有機 EL・無機 EL 照明デバイス技術セミナー、同研究会

③マッチング事業

○専門家派遣（鳥取3回、島根、広島、山口各1回）

財団名	派遣日	企業名	専門家	専門分野
鳥取県	12/24	トータルテクノ	長町志穂	照明デザイン
	H26/3			
	H26/2/15	光電気 LED システム	原田秀一	電源回路設計
島根県	10/8	セイコー電気	櫛山泰亮	電気用品安全法
広島県	H26/2/27	(株)タテイシ広美社	国峯尚樹	熱設計・構造解析
	H26/2/28	エクセル(株)		
山口県	H26/2/25	三和産業(株)	松下美紀	照明デザイナー

○専門展示会を活用したマッチング(H26.3)

項目	内容
出展企業ガイド製作 (12/18)	
マッチング企業訪問の 開始	12/19 : 日建設計(株) H26/2 : 住友林業(株)、信越化学工業(株)、(独法)鉄道建設・運輸施設整備 支援機構、市光工業(株)、東洋精箔(株)、日立金属(株)、朝日エディック(株)、 ダイワハウス工業(株)、積水ハウス(株)他
マッチング実施10社 (H26/3/4～3/7)	(株)日建設計・信越化学工業・東洋精箔(株)・朝日エディック・積水ハウス(訪 問招聘での来場) マックスレイ(株)・阪神電気鉄道(株)・東洋建設(株)・住友電気工業(株)・住友林 業(株) (招待状招聘での来場)

④ 販路開拓事業

○LED 専門展示会 (LED Next Stage2014) 出展(H26.3)

期間	H26/3/4～3/7	
会場	東京ビッグサイト	
出展 企業 9 社	鳥取県 鳥取電子(株)、アロー産業(株) 島根県 Do ライト(株)、(株)トリコン、(株)島根電子今福製 作所 広島県 (株)カシロデンシ、(株)タテイシ広美社 山口県 (株)ストロベリーメディアアール、ブルーエーブテクノロジ ー(株)	・期間中の相談(名刺交換・商談 説明等)1,075件、後日訪問等73 件、見積り依頼37件、商談成立1 件。 ・鳥取県の2社については、 上記の順に、91件・4件・3件・0 件。

(2) 医工連携推進事業

○主な実施項目

項目	内容	講師等
「とっとり医療機器 関連産業戦略研究会」 設立	・設立日：平成25年11月18日	・会員企業数：51 社・団体(76 名) ※3 月 末時点
先進地調査等	医工連携における先進地域・ 団体・企業を視察・調査し、県 内企業への支援活動に活用	・(株)ニッコーテック(倉敷市) ・(公財)郡山地域テクノポリス推進機構 ・(一社)日本能率協会 ・酒井医療(株)
研究会グループワー クの開催	・平成26年2月18日(「医療機 器関連産業新規参入セミナー」に併せて、会員企業を対 象としたグループワークを開 催。	座長：九州大学 大平教授 (株)エフオー代表取締役 藤井留幸

項目	内容	講師等
	・13社参加	
個別企業相談会	・平成26年3月19～20日 ・医療機器製造業及び ISO13485取得を希望する企業：6社に対する個別企業相談会を開催。	・講師：(株)エフオー代表取締役 藤井留幸
韓国原州市医療機器メーカーとのマッチング会	平成26年3月6日 参加者数：18社・団体	
セミナー等参加	○その他業界動向調査のためのセミナー参加	・薬事法改正等を踏まえた医療機器関連事業研究会 ・医療機器開発スタートアップフォーラム ・3Dプリンタが作る新しい世界

IV 産学金官の連携促進の支援

1. 染色体工学研究拠点の形成

(1) とっとりバイオフィロンティア管理運営事業

区分	講座名等	期日	参加者等
バイオ人材育成講座	「ライフサイエンスにおける新たな電子顕微鏡技術の展開」	4/26	15 名
	「バイオフィロンティアセミナー」	6/21～22	25 名
	「研究開発戦略のための人脈づくり講座」	7/26	8 名
	「染色体工学セミナー」	9/9～9/10	9 名
	「知的財産を守る・活かす勉強会」	10/18	9 名
	鳥取大学染色体工学研究成果発表会	2/21	100 名
	ヒト特異的な薬物性肝機能障害の発現機構について	3/18	8 名
	胎仔培養実験のための勉強会	3/26	1 名
利用促進・入居企業支援活動	国際BioTech2013ブース出展	5/8～10	(800 社)
	バイオジャパン2013参加	10/9～11	(12,000 人)
	日本薬学会スポンサードシンポジウム共催	3/27～30	(10,000 人)

V 管理運営体制の確立

1. 総合的な企業支援の実施

(1) 企業支援コーディネーターの設置

区分	項目	件数
支援件数（延べ件数）	経営革新 販路開拓	24社
	技術支援 技術法規 製品安全	63件
	総合支援	40件
	事前調査等	8件
	合計	135件
企業支援件数	経営革新 販路開拓	2社
	技術支援 技術法規 製品安全	5社
	総合支援	2社
	合計	9社